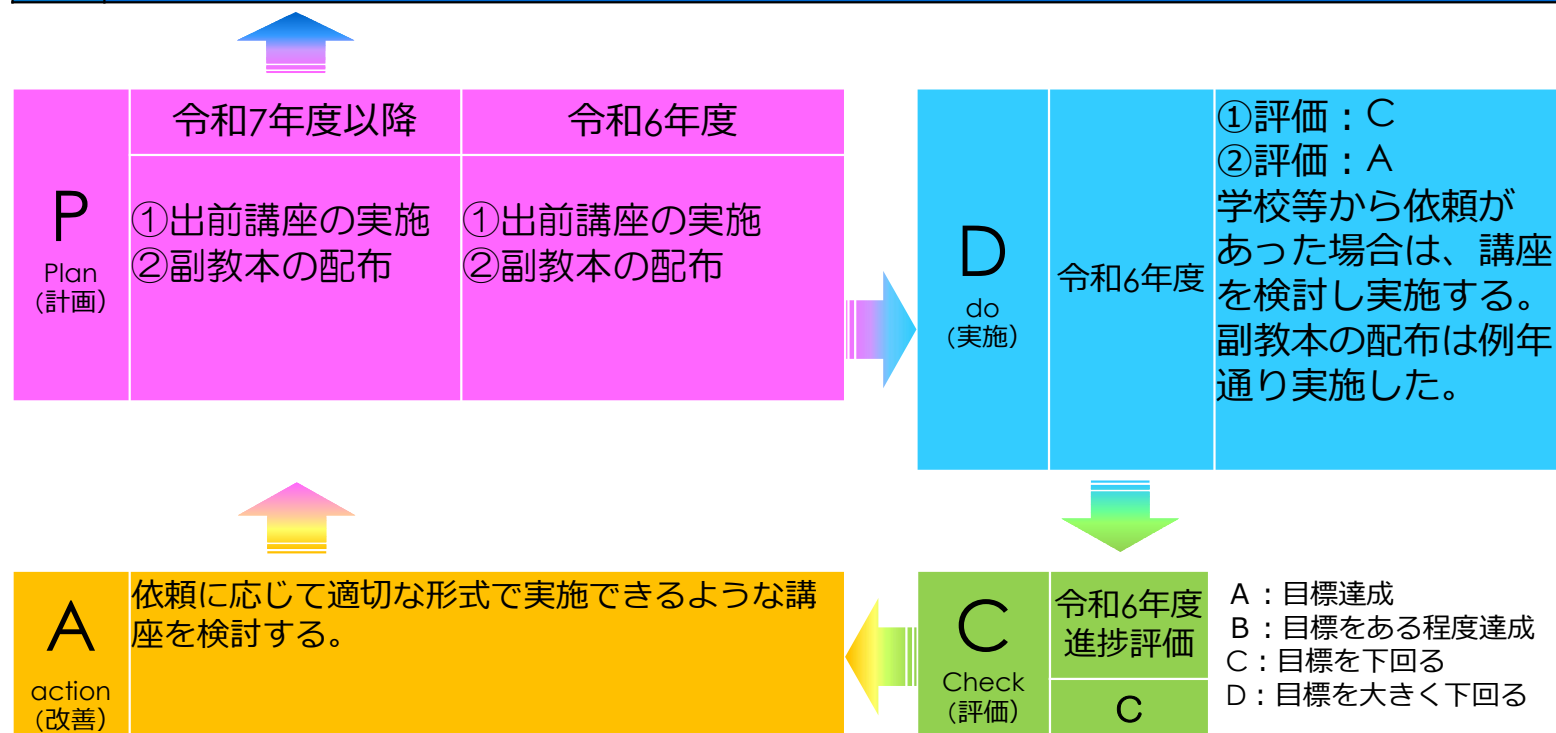


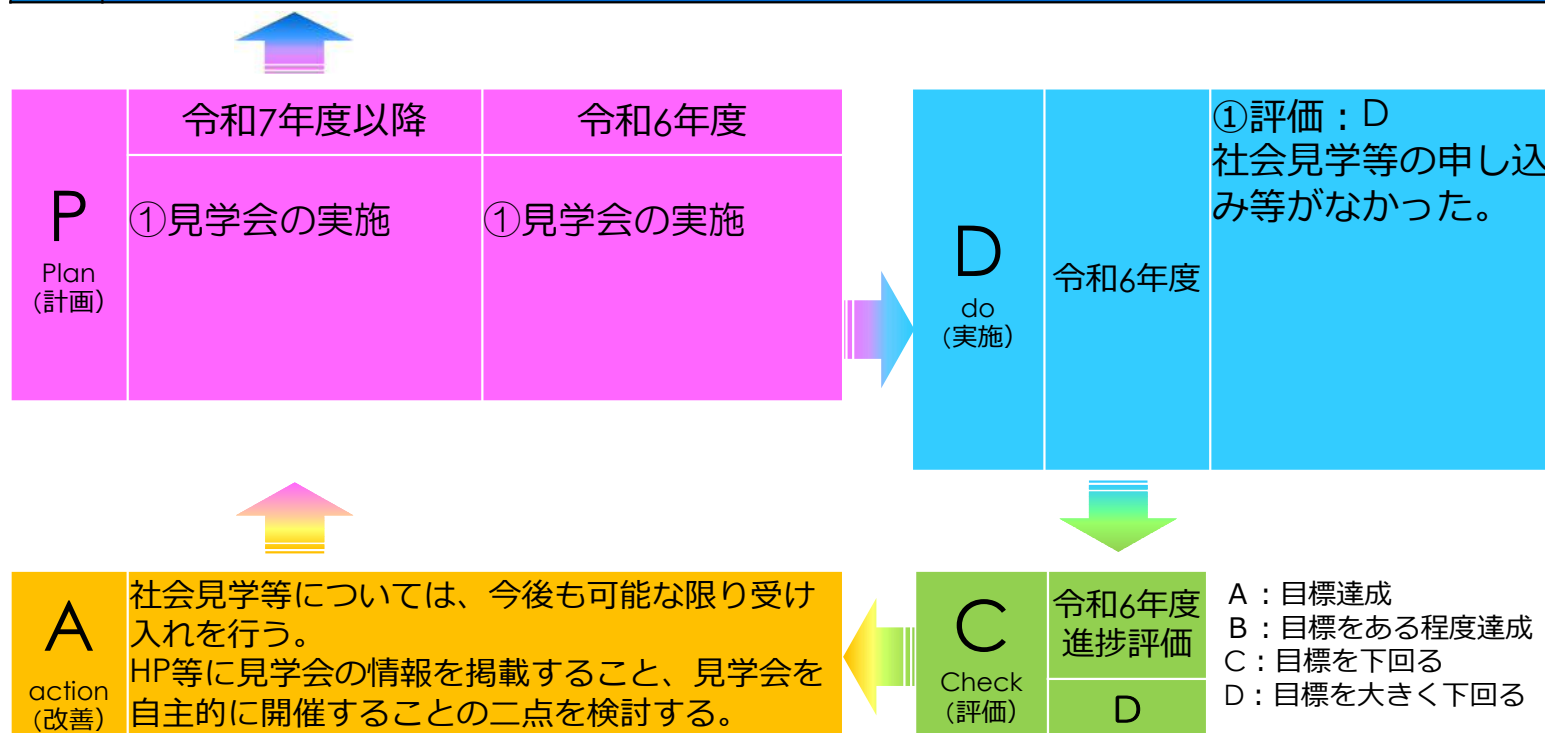
令和 6 年度進捗報告

No.	施策	広報と地域防災の向上	現状課題	・学校や自治会などを対象に下水道の役割や災害対策等についての講座を実施 ・普段あまり目にしない下水道事業に対する理解を得るための広報活動が必要 ・激甚化・頻発化している大雨に対し、市民の生命や財産を守るための避難行動につながる情報を、より多くの市民にわかりやすく伝えることが必要
1	取組項目	出前講座		
最終目標	・下水道事業への理解を得る ・浸水に対するソフト面の対策を強化			



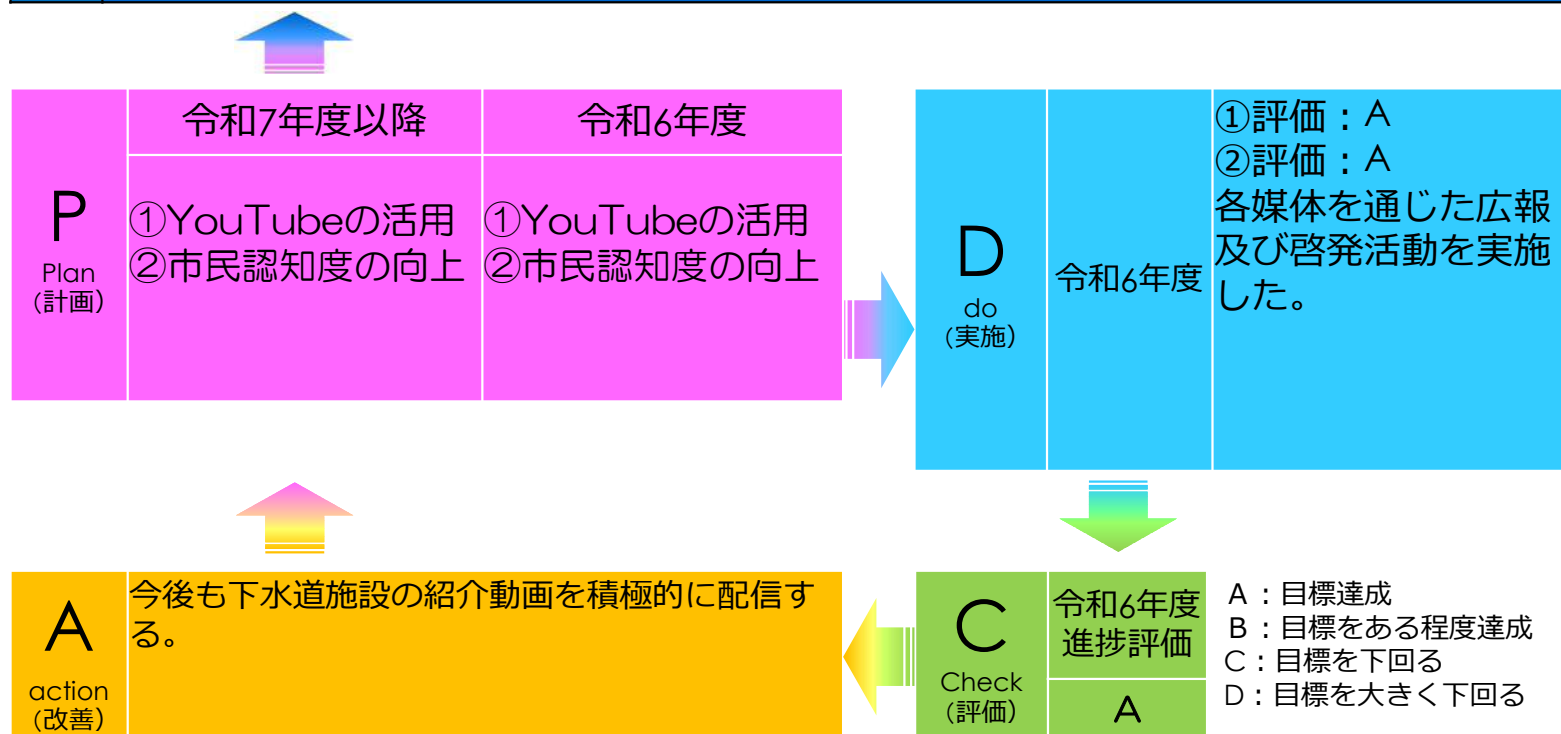
令和6年度進捗報告

No.	施策	広報と地域防災の向上	現状課題	・ポンプ場等は普段目にするのが少なく、どのような役割を担っているか周知しきれていない部分がある ・現在の職員数では年間1回程度の受け入れ回数が限度だと考えている
2	取組項目	ポンプ場の見学等		
最終目標	下水道の目的や仕組みなど、下水道を「見える化」し、関心を得る			



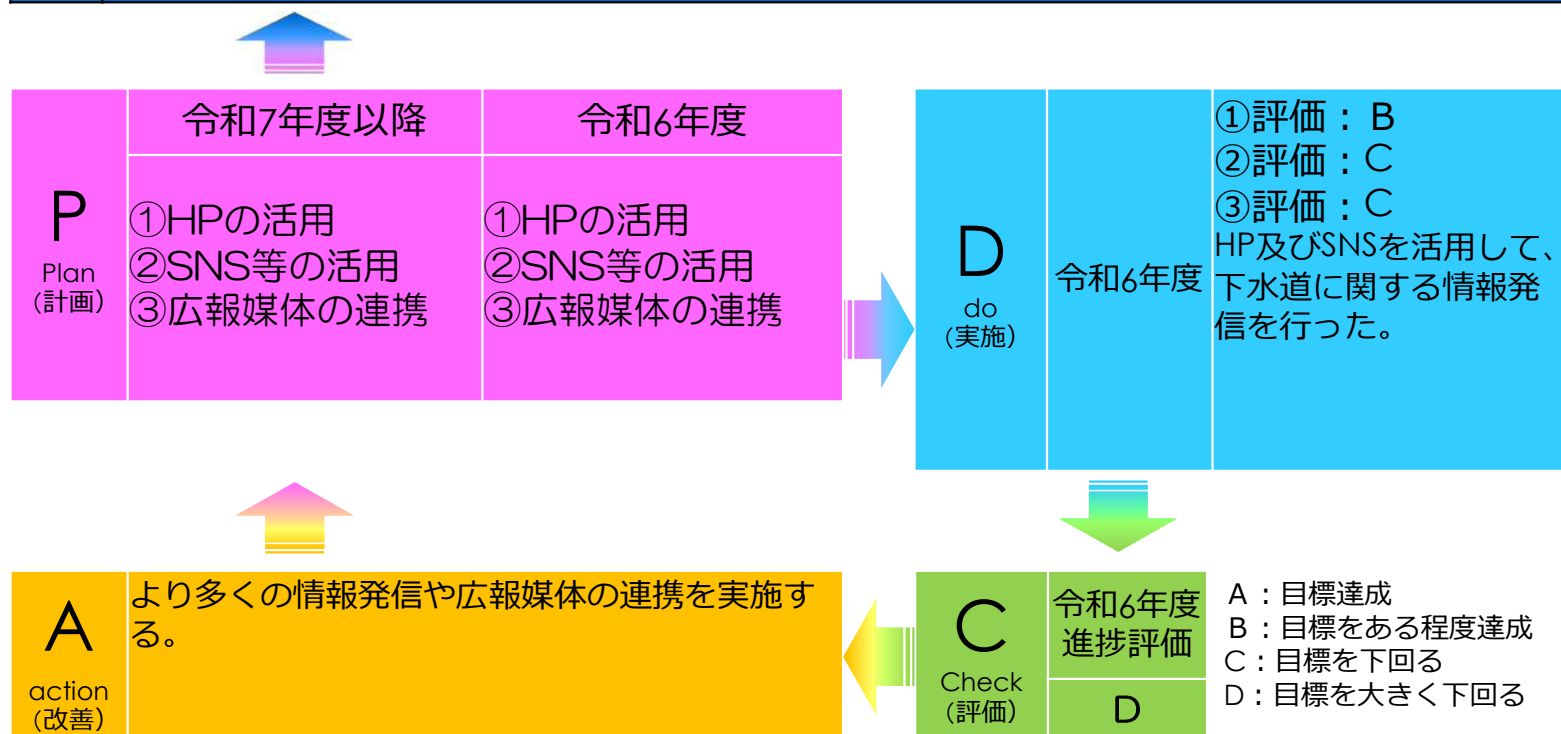
令和6年度進捗報告

No.	施策	広報と地域防災の向上	現状課題	出水期や台風シーズン前に、各媒体を通じた広報、啓発を行っている 多くの人に見てもらい、興味を持ってもらえるような工夫が必要
3	取組項目	幅広い広報媒体の活用		
最終目標	・下水道事業への理解を得る ・浸水に対するソフト面の対策を強化			



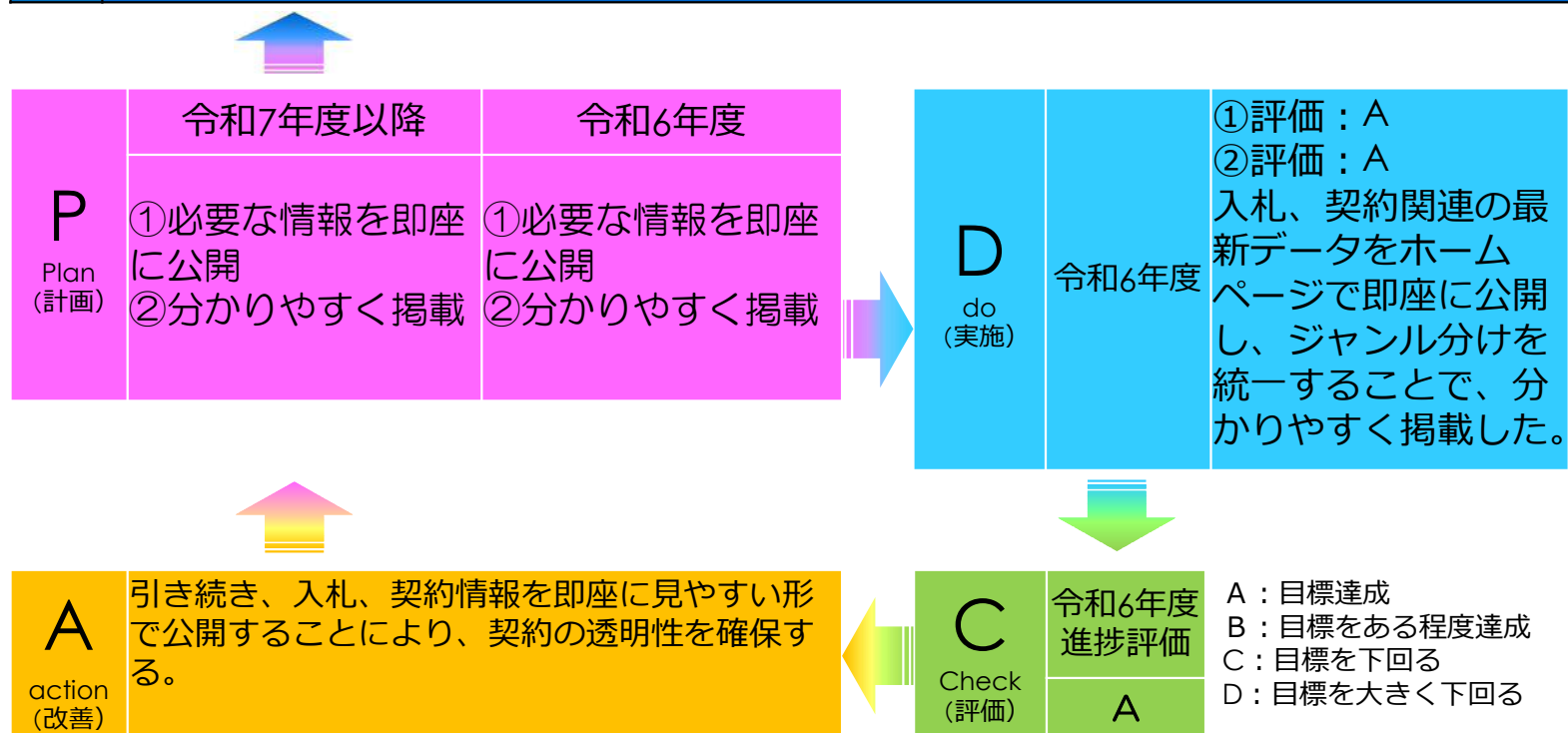
令和6年度進捗報告

No.	施策	広報と地域防災の向上	現状課題	計画課で出前講座や、マンホールカード、HP、YouTubeなど様々な広報媒体によって下水道事業のPRを行っているが、これらのPRによって下水道事業に親しみや興味を持っていただいた方が、より下水道事業について知る仕組みが無い 下水道事業をハード面だけで維持していくことが困難な状況になっている中で、いかにソフト面の強化を行っていきけるかが課題となっている
4	取組項目	下水道事業の説明（PR）		
最終目標	下水道事業の役割や実績に対する市民の理解を得て、ソフト面の強化に繋げる			



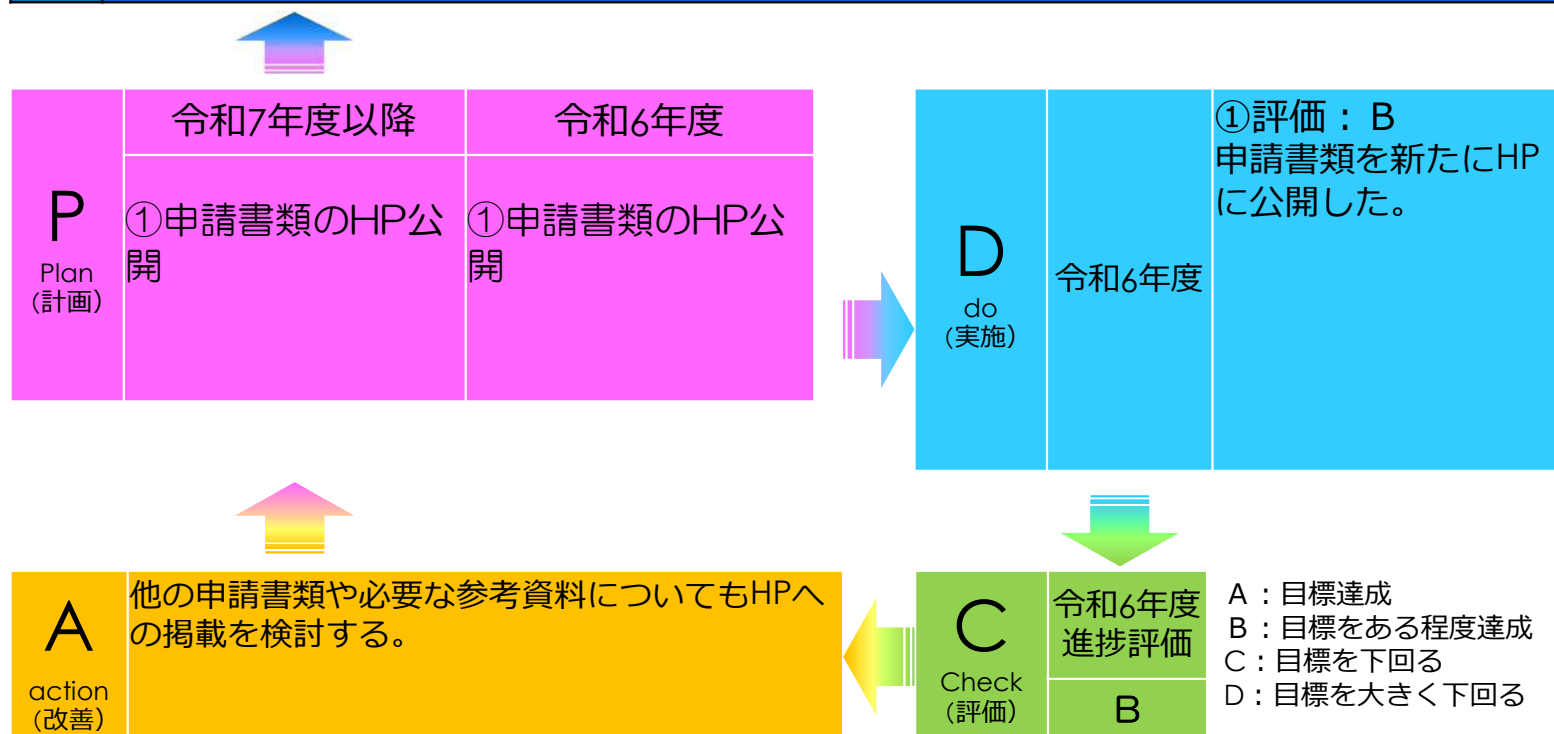
令和6年度進捗報告

No.	施策	来庁せずに必要な情報・資料を得られる	現状課題	入札・契約関連の情報は全ての人が平等に得られる透明性を確保するため、正しい情報をタイムラグなく見やすい形でホームページで公表しなければならない
5	取組項目	透明性のある情報公開（入札）		
最終目標	入札・契約情報を適切に公開することにより、契約の透明性を確保			



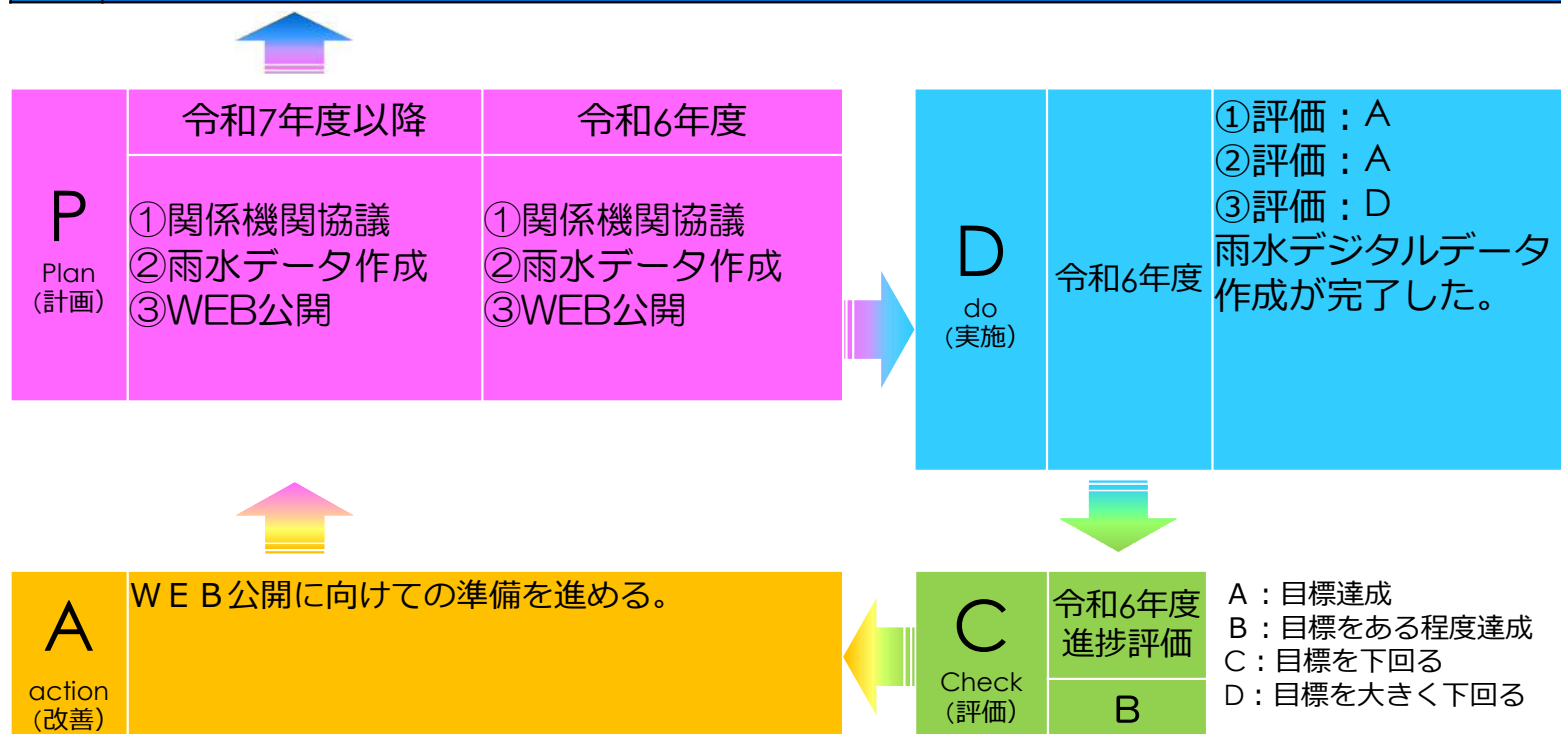
令和6年度進捗報告

No.	施策	来庁せずに必要な情報・資料を得られる	現状課題	ある程度の申請手続きに関する情報はHPに掲載されているが、全てが掲載されているわけではない 申請手続する上で必要な資料を窓口限定するのではなく、HPにも掲載して選択肢を広げる必要がある
6	取組項目	申請書類の掲載		
最終目標	全ての申請手続き等に関する資料をHPに掲載			



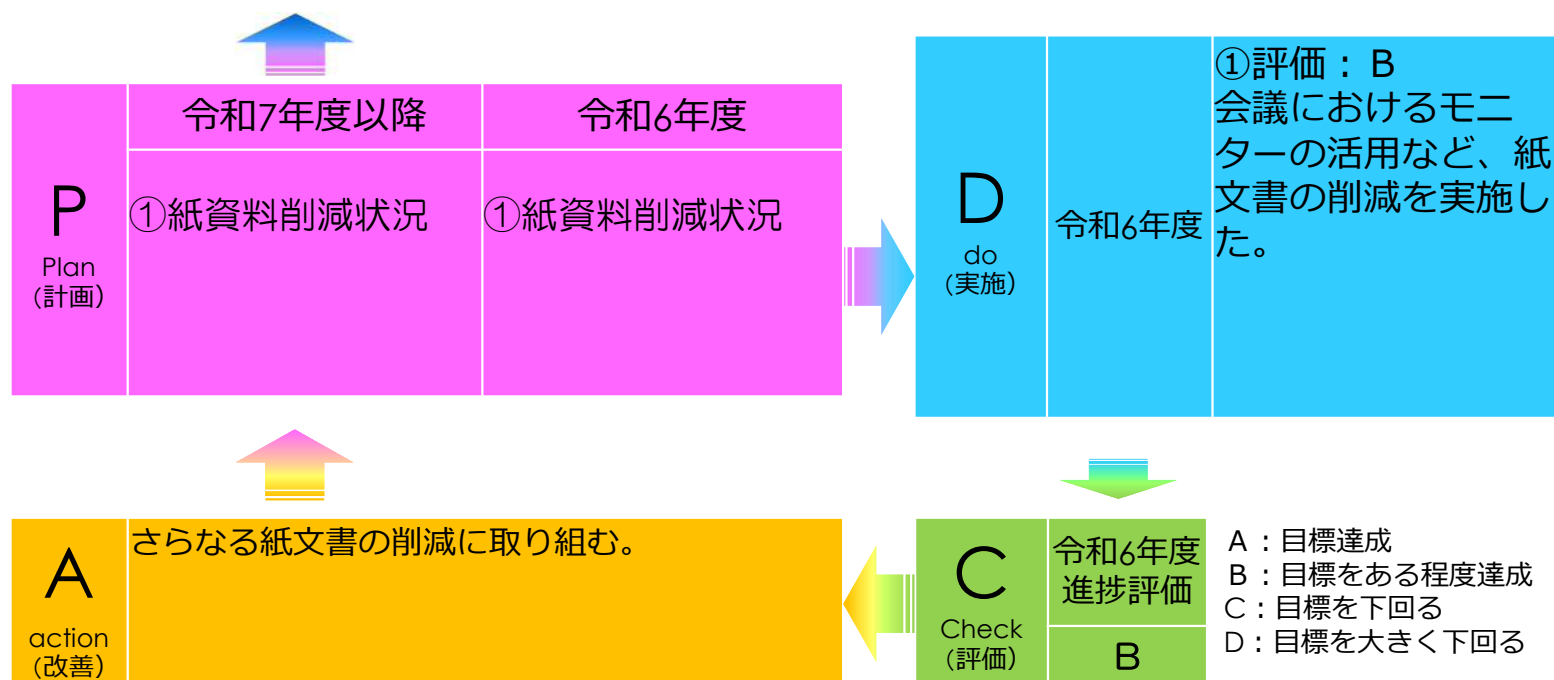
令和6年度進捗報告

No.	施策	来庁せずに必要な情報・資料を得られる	現状課題	下水道台帳をHPにアップするためには基盤図の更新と雨水施設のデジタルデータを作成する必要がある 基盤図の更新のためには関係部署と協議が必要となり、雨水デジタルデータの作成は相応の費用と期間が必要
7	取組項目	下水道施設の情報公開		
最終目標				



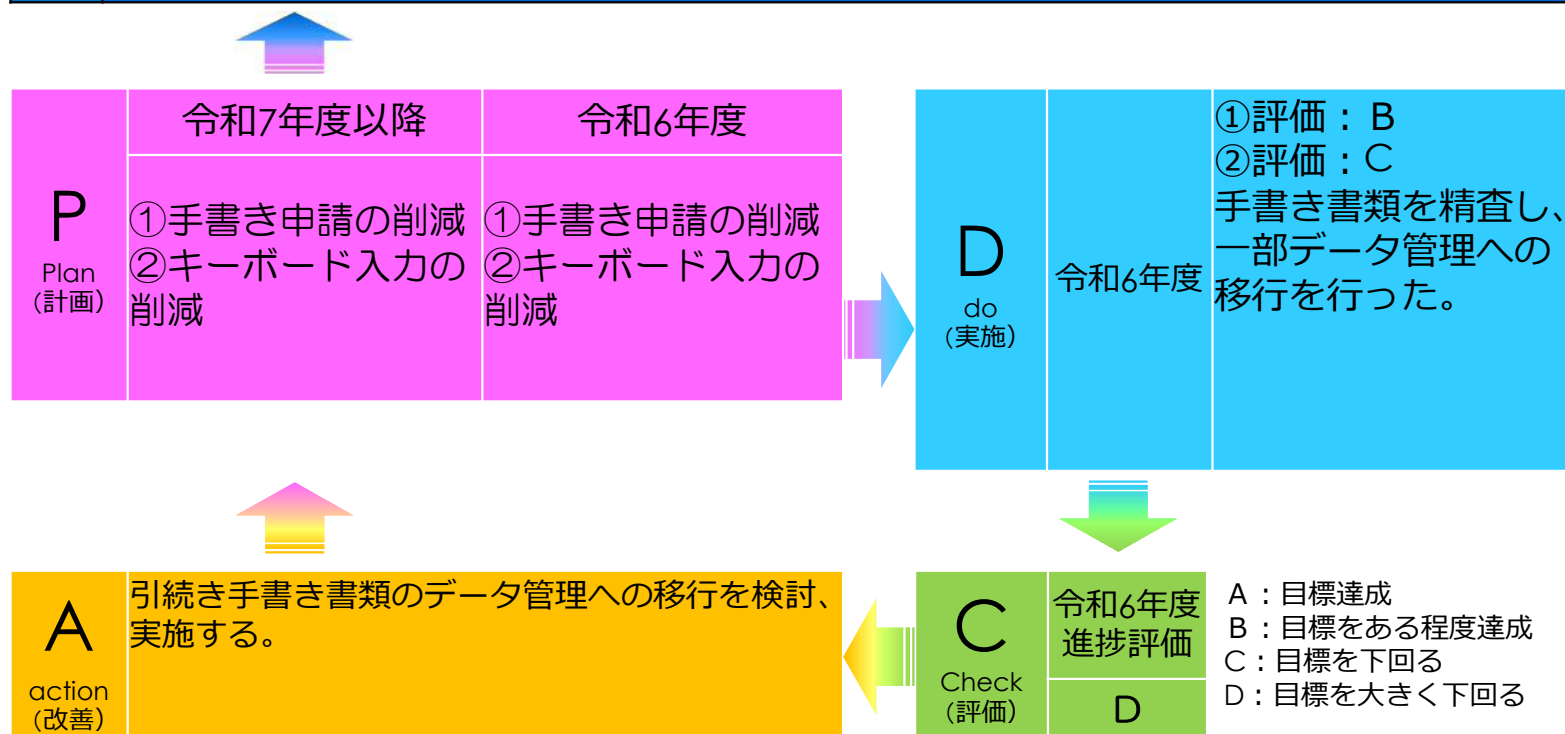
令和6年度進捗報告

No.	施策	デジタル化の推進	現状課題	(現状) Wifi対応等され、会議をパソコンを通して行う環境が整いつつある (課題) ・資料の確認や起案処理は紙媒体の方が行いやすい ・業者との打ち合わせの度に保管する紙文書が増加する
8	取組項目	紙文書の削減		
最終目標	データの取りまとめやアウトプットを効率的にする ・データの保管場所や引継ぎを改善 ・会議場で共有できるデータをより多く			



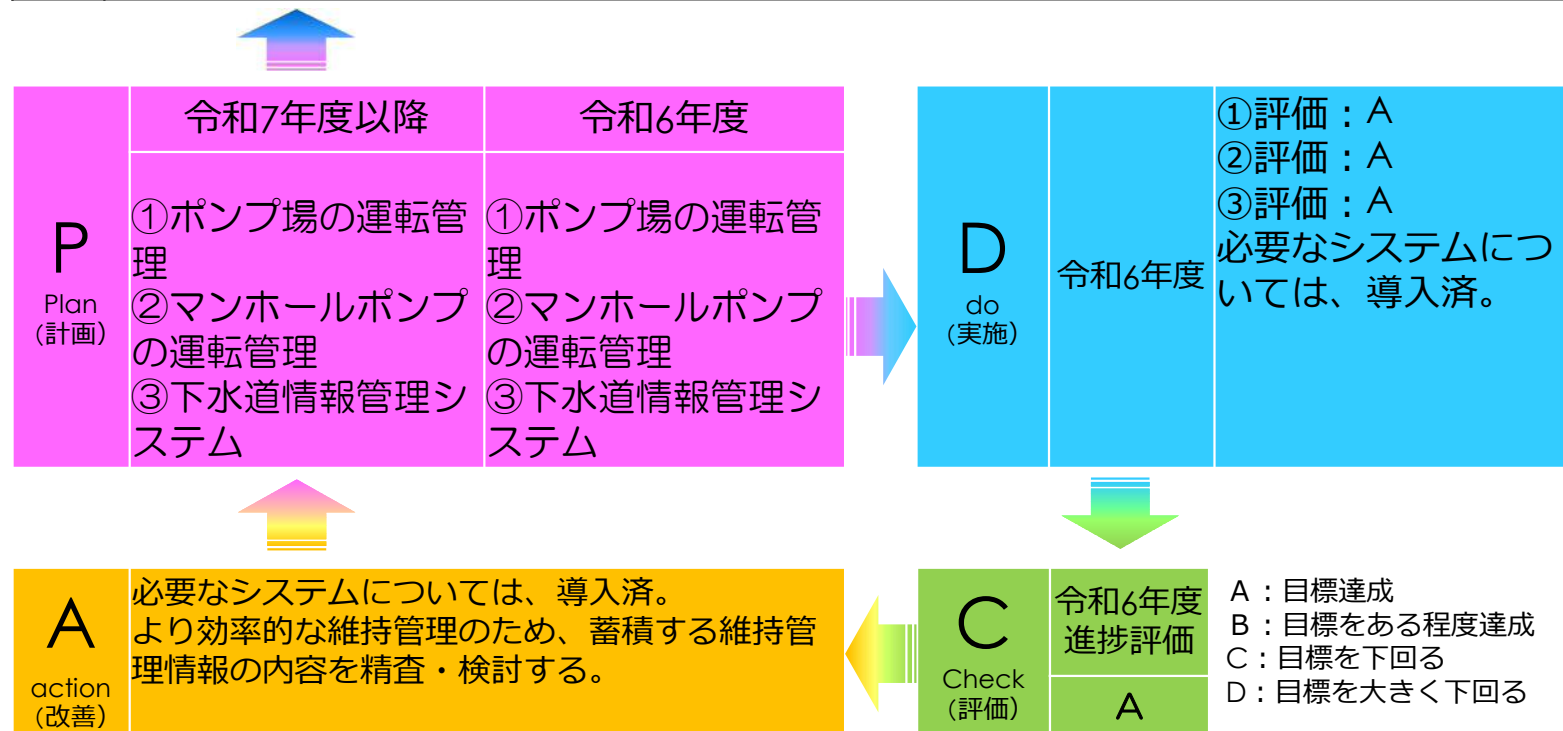
令和6年度進捗報告

No.	施策	デジタル化の推進	現状課題	- 排水計画確認申請書台帳システム及び下水道施設台帳システムの導入済で、排水計画確認申請書等のデータ管理を行っているが旧データの精査が残っている - 路線選定や設計中及び施工中の路線はアナログで管理しているが、GISでデータ管理することにより、事務の効率化を図る - 企業会計システム、積算システムは良好に運用
9	取組項目	データ管理システムの導入・改善		
最終目標	- システムによりデータの管理を行い、事務の効率化や市民等への対応も迅速化 - システム運用に係る作業量や費用を更に減らす			



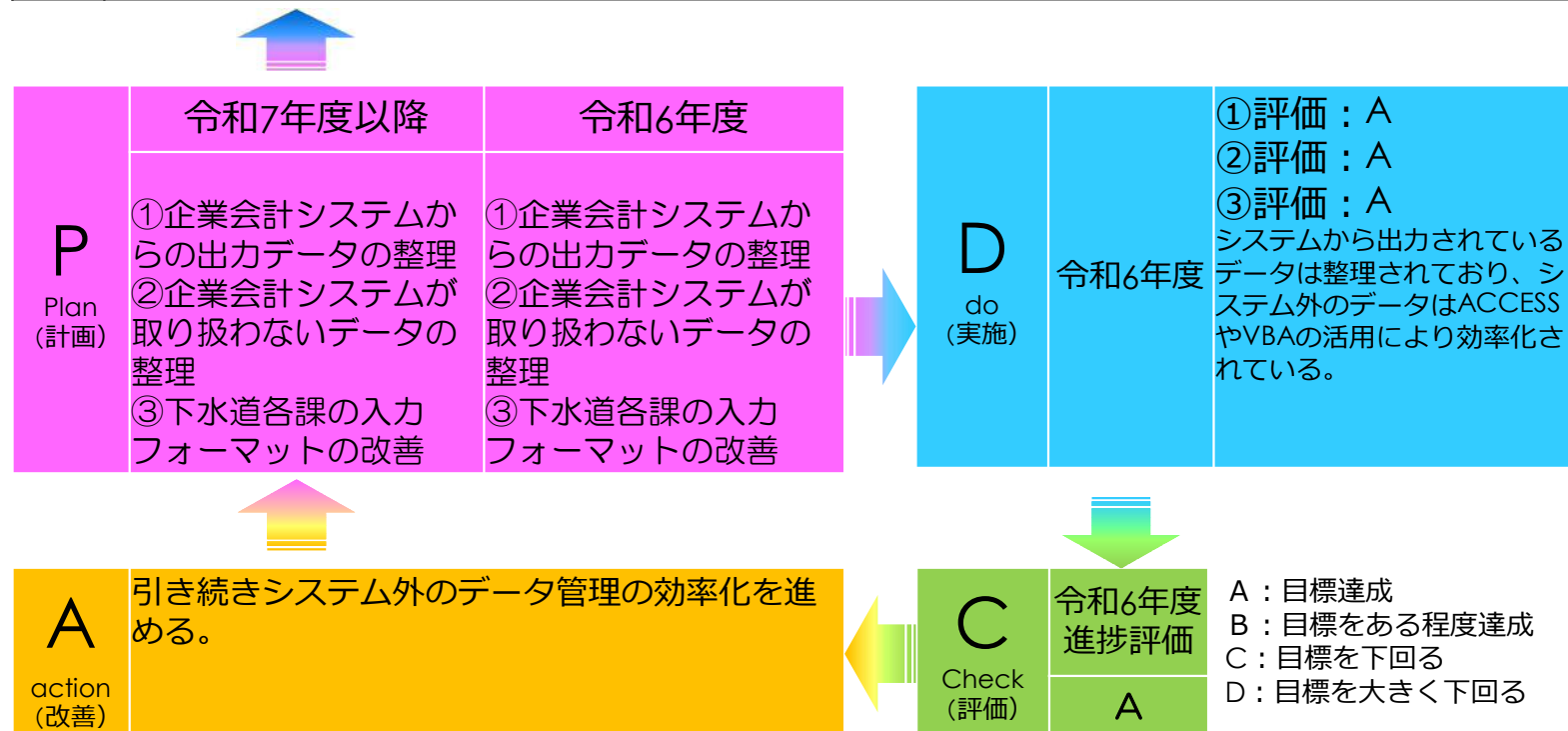
令和6年度進捗報告

No.	施策	デジタル化の推進	現状課題	ポンプ場運転維持管理業務委託の契約業者とは、施設に関する情報共有については綿密に行う必要がある マンホールポンプ場については、故障が発生すると、市民生活への影響が大きいいため、迅速な対応が求められる
10	取組項目	施設管理システムの導入・改善		
最終目標				



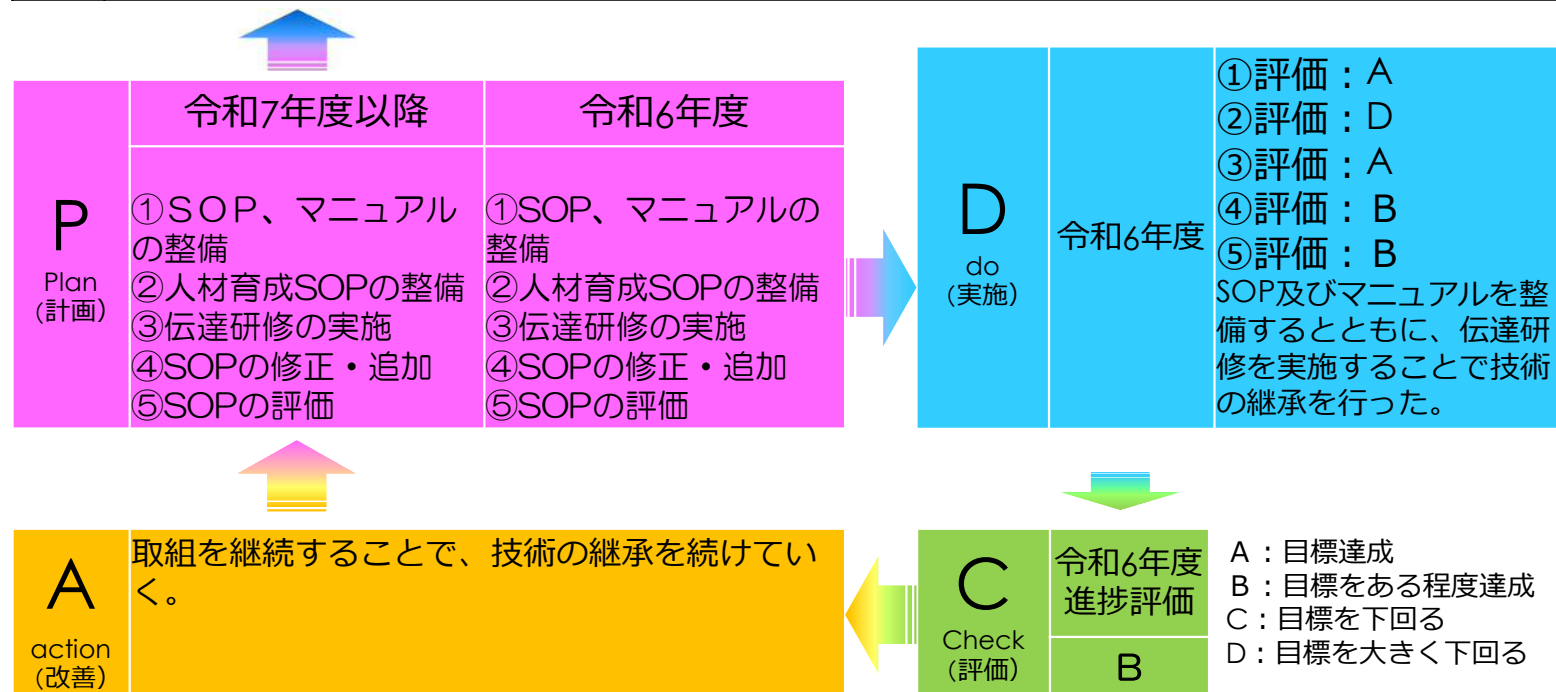
令和6年度進捗報告

No.	施策	デジタル化の推進	現状課題	資料の作成は企業会計システムから複数の帳票から引用、加工する必要があるため煩雑で時間がかかり、同じような資料も多い 作成資料に合わせて全てシステム改修で対応すると、費用が掛かりすぎるため、エクセルマクロやアクセスを利用することで、早く正確に資料を作成する
11	取組項目	システム導入以外の取組		
最終目標	決算作業の効率化			



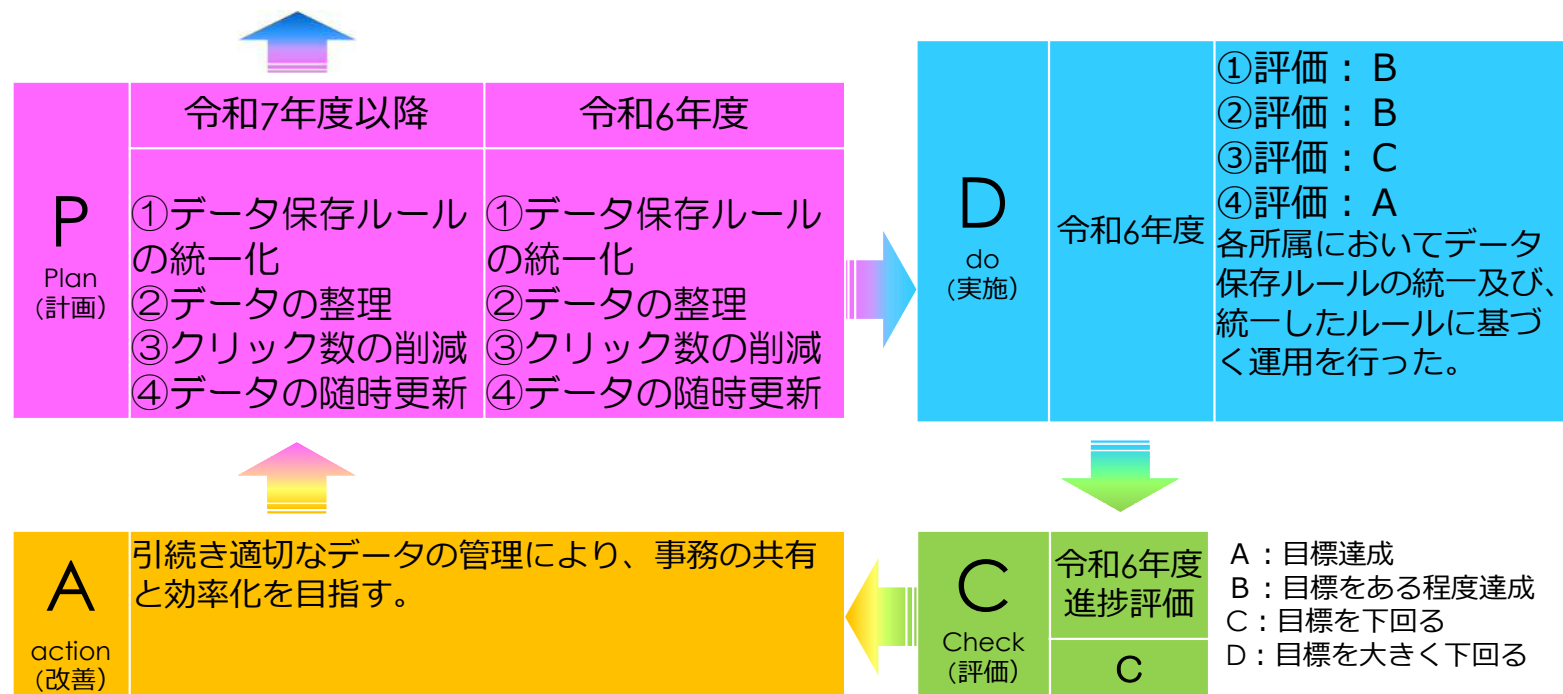
令和6年度進捗報告

No.	施策	人材の育成	現状課題	経営戦略を策定したことで、前年度を踏襲した事業を続けるだけ財政破綻の恐れがあることが分かった 職員数が減少し続け、業務の委託化が進む中、将来にわたって、ライフラインとしての下水道施設を維持するためには、下水道に関する専門的な知識や経験を有する職員の確保が重要
12	取組項目	研修、技術の継承		
最終目標	幅広い知識や技術を有する人材の育成 前年度踏襲に縛られない新しいアイデアを出す人材の育成 最新情報の収集できる人材の育成			



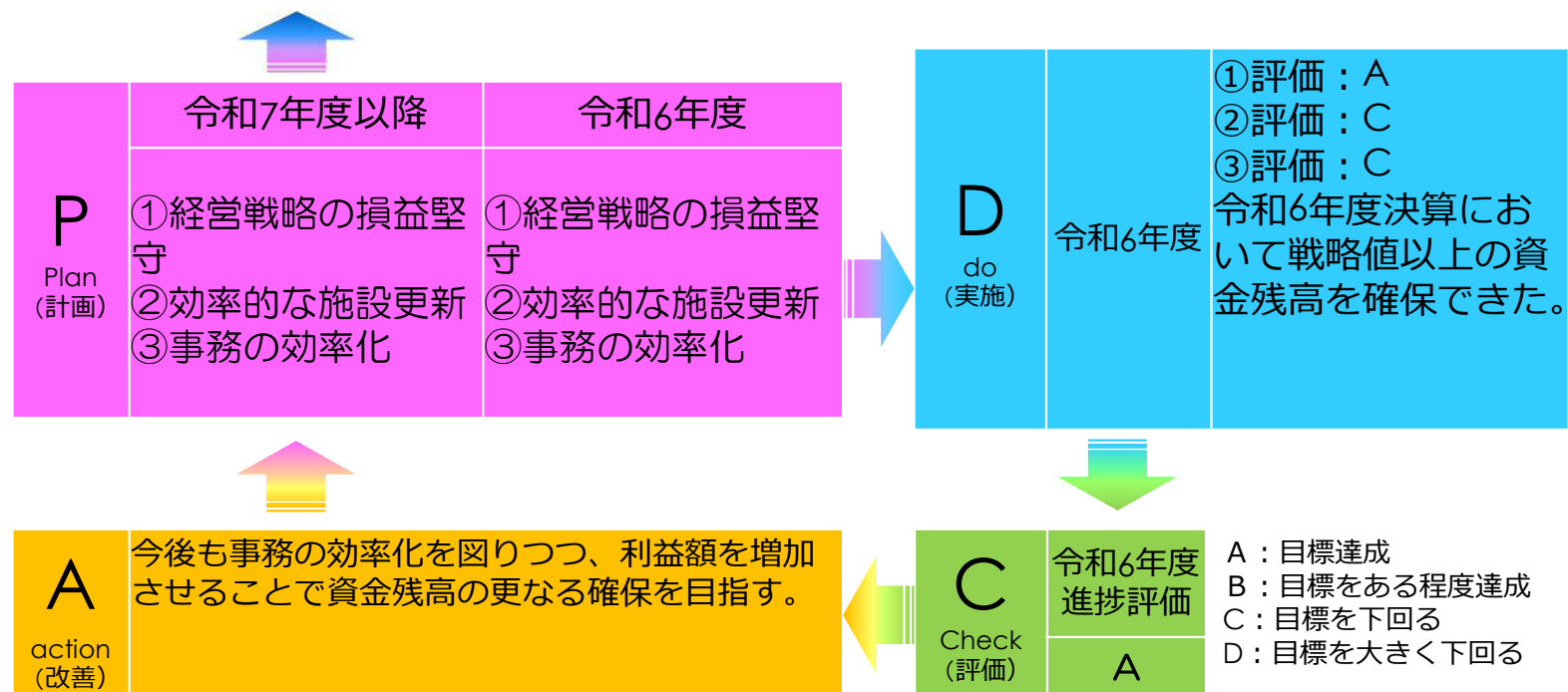
令和6年度進捗報告

No.	施策	事務の改善	現状課題	会議や協議資料の電子化でペーパーレス化が進み、これまでと違うデータの管理方法が必要になってきている 扱うデータ量が年々増えているため、目的のデータに辿り着く時間が増えている 担当者によってデータの整理方法が違う場合があるため、ルール化が必要
13	取組項目	データ管理		
最終目標				



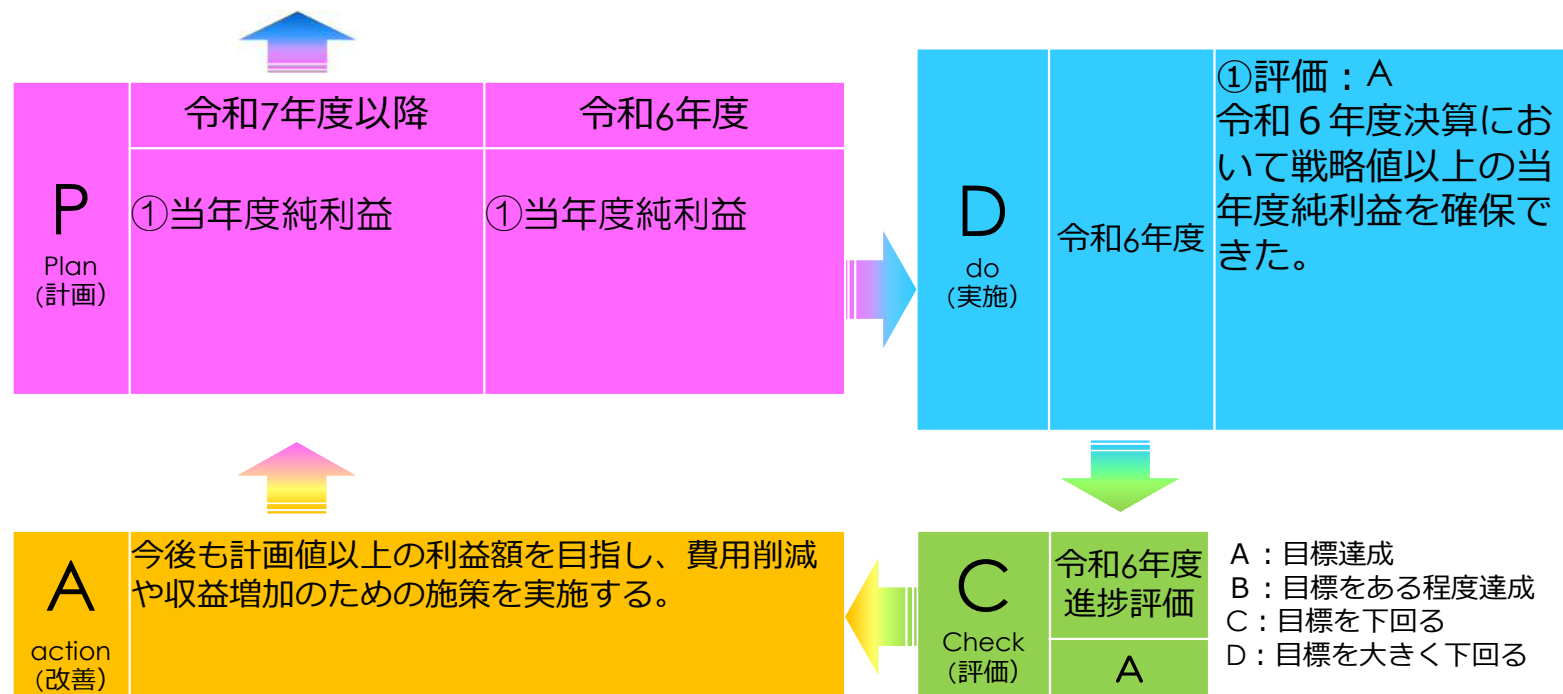
令和6年度進捗報告

No.	施策	秩序正しい財政運営の推進	現状課題	資金残高は、令和2年度決算で70億円以上あり、日々の取引や企業債の償還金の資金を安定して確保している 経営戦略期間中は、純利益（黒字）を維持する見込みだが、借金の返済、人口減少による使用料収入の減収などで令和12年度には3億円以下にまで減少が見込まれるため、極めて厳しい財政状況
14	取組項目	資金残高		
最終目標	必要な資金残高の確保 将来的には災害に備えた資金の確保（25億円）			



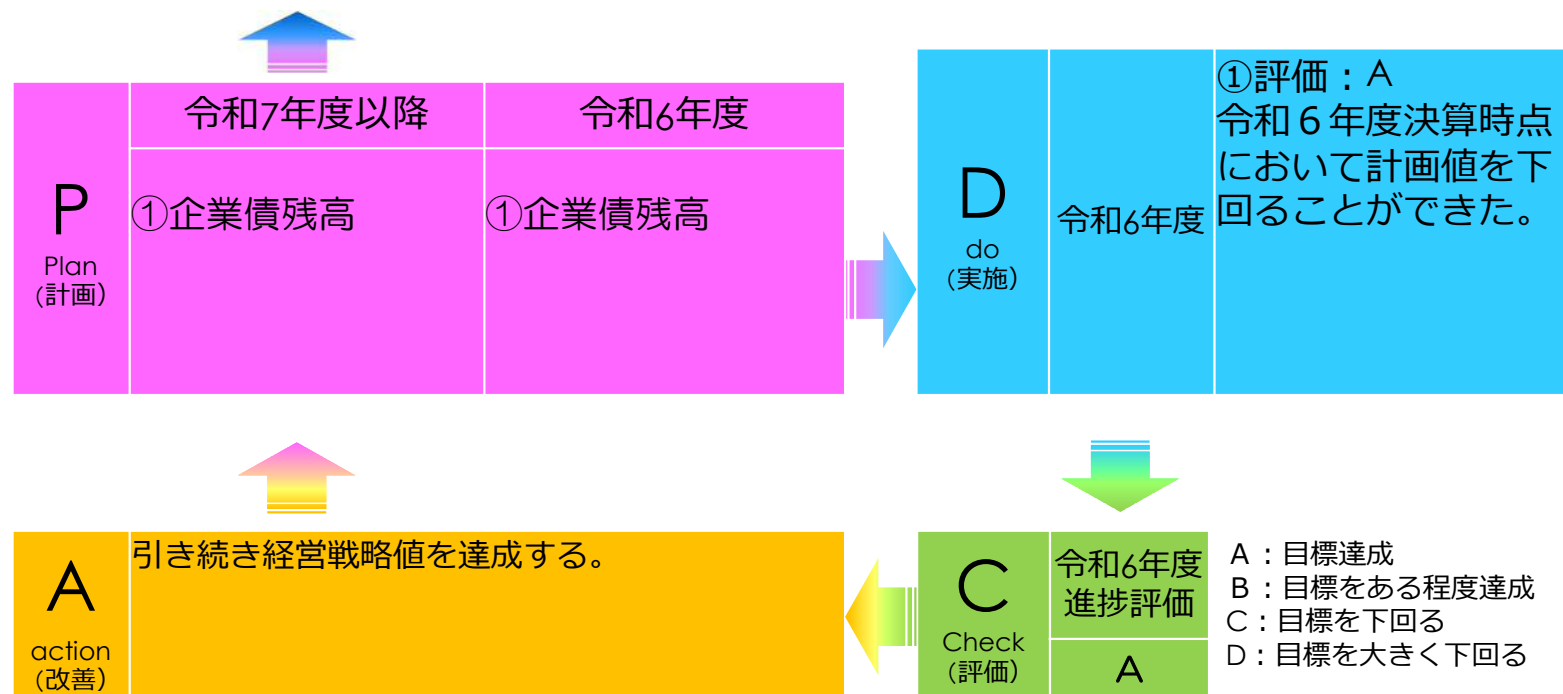
令和6年度進捗報告

No.	施策	秩序正しい財政運営の推進	現状課題	令和2年度に策定した経営戦略では、経営状況は当面の間、厳しいながらも使用料改定をすることなく乗り越えられることが分かった ただし、最も経営状況が厳しい令和13年前後の資金状況を踏まえると、経営戦略で設定した当年度純利益は維持、改善し続けなければならない
15	取組項目	当年度純利益		
最終目標				



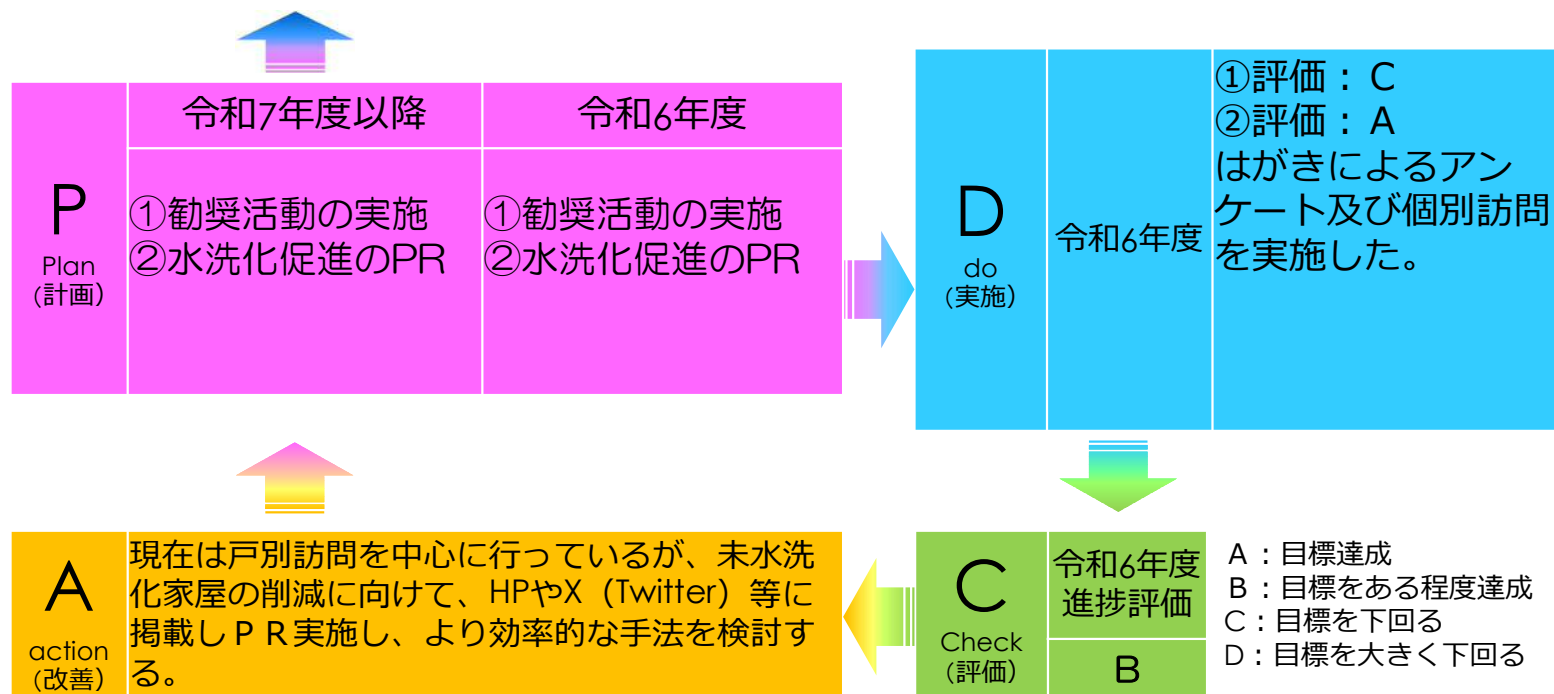
令和6年度進捗報告

No.	施策	秩序正しい財政運営の推進	現状課題	本市の大部分は淀川・大和川よりも低いため、浸水被害が発生しやすく、雨水排水対策を重点施策としてきた そのため、市民一人当たりの借金残高は大きく膨れ上がっており、安定経営や負債を将来に残さないために、企業債残高を減らすことが重要
16	取組項目	企業債残高		
最終目標	・ 借金返済額を減少させることで安定経営に寄与する ・ 負債を将来の市民に負担させない			



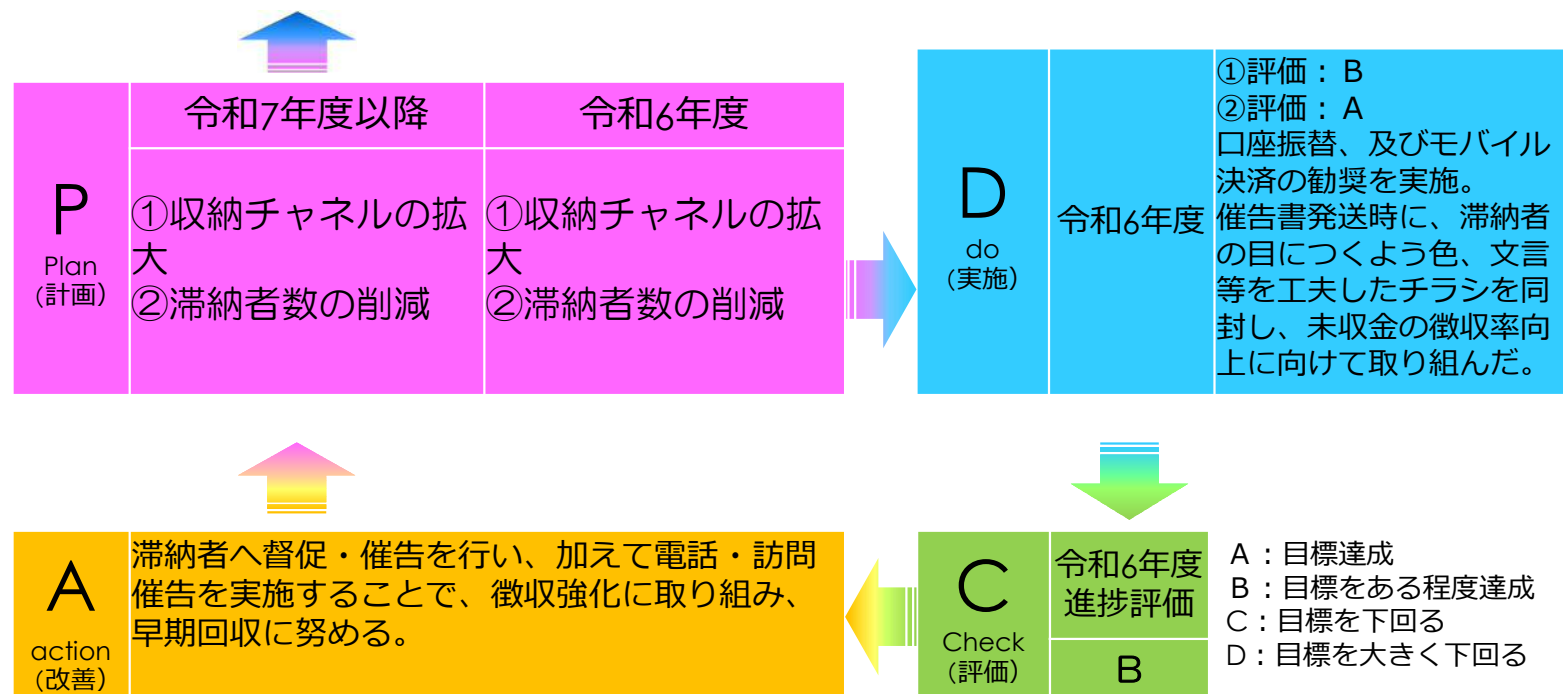
令和6年度進捗報告

No.	施策	事業運営に不可欠な財源確保	現状課題	・経済的負担等の事情により、勧奨効果が見込めないケースがある ・現在は戸別訪問を中心に行っているが、ほとんどが不在で啓発パンフレットを投函のみの場合が多い ・必要な方に必要な情報を伝える仕組みを考える必要がある
17	取組項目	未水洗化家屋への勧奨		
最終目標	・水洗便所により公衆衛生の向上 ・使用料の収入向上			



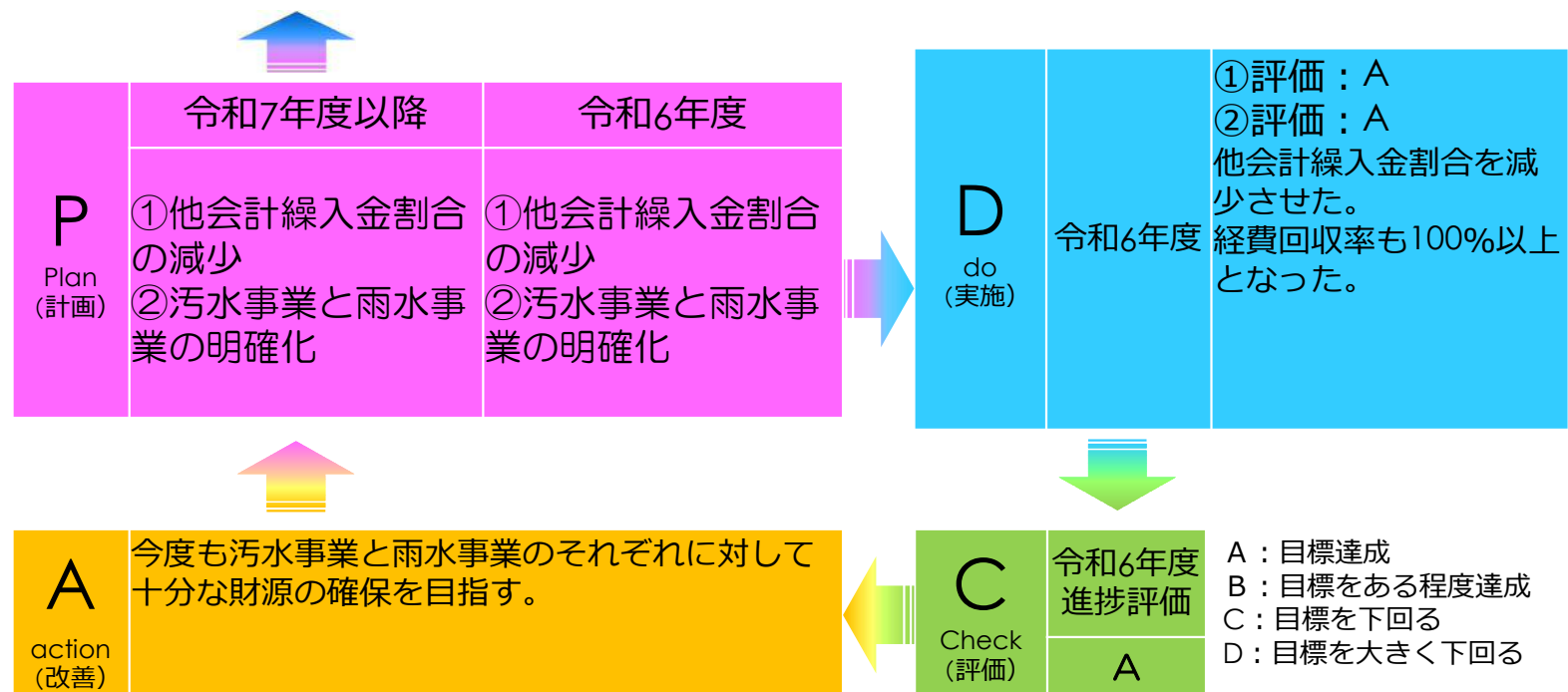
令和6年度進捗報告

No.	施策	事業運営に不可欠な財源確保	現状課題	人口減少に伴い、使用料収入の確保が難しくなっている 滞納者に向けて専用のチラシを活用した催告を行っている 収納チャネルの拡大等を継続し、未収金を未然に防ぐ環境を構築したい
18	取組項目	未収金削減への取組		
最終目標	未収金の削減、収納率の向上			



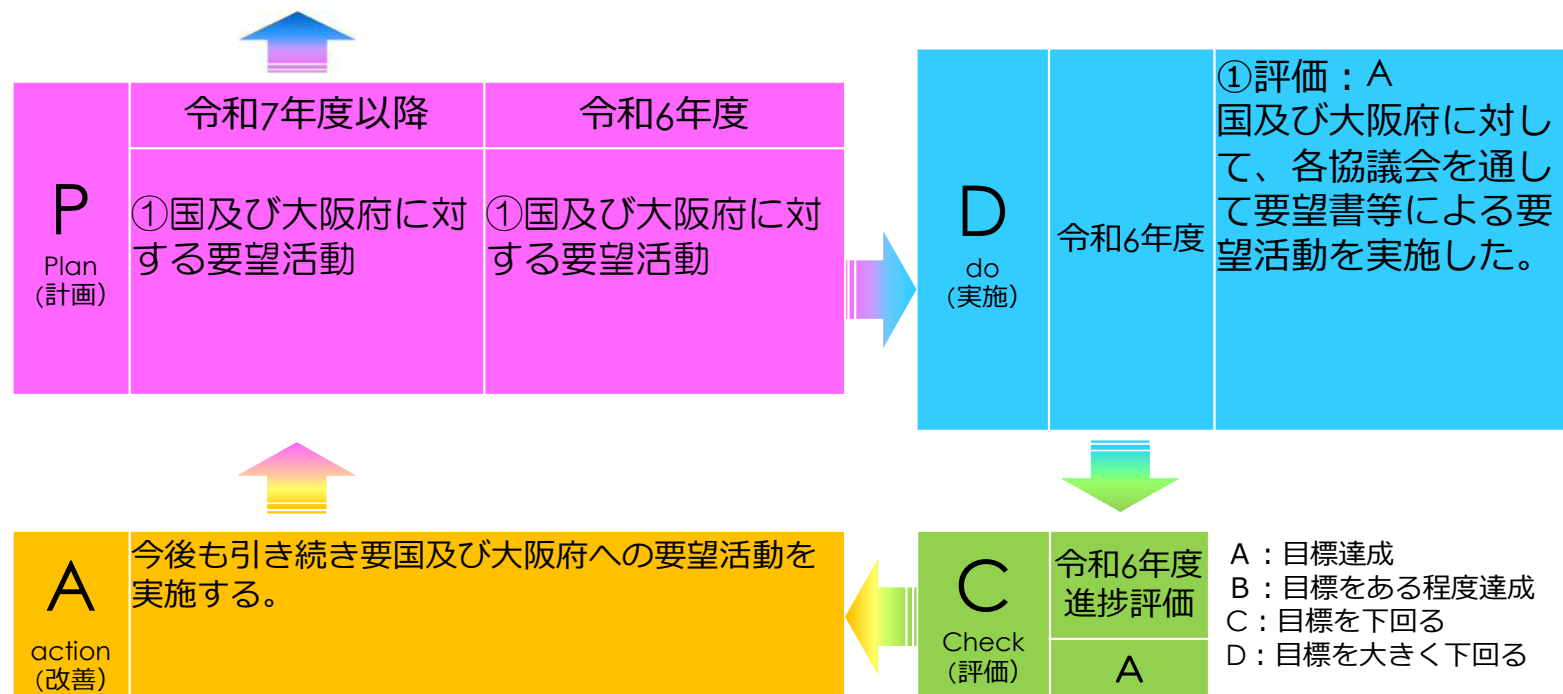
令和6年度進捗報告

No.	施策	事業運営に不可欠な財源確保	現状課題	本市がこれまでに多くの雨水対策事業を行ってきたことから、下水道事業の収入のうち、他会計繰入金は多額となっている 他会計繰入金は交付税や市税によって賄われているため、国の制度等によって金額の算定方法が変わる可能性があり注視する必要がある
19	取組項目	他会計繰入金の精査		
最終目標	・雨水対策事業費に見合う繰入額を確保 ・他会計繰入金に依存した経営から脱却			



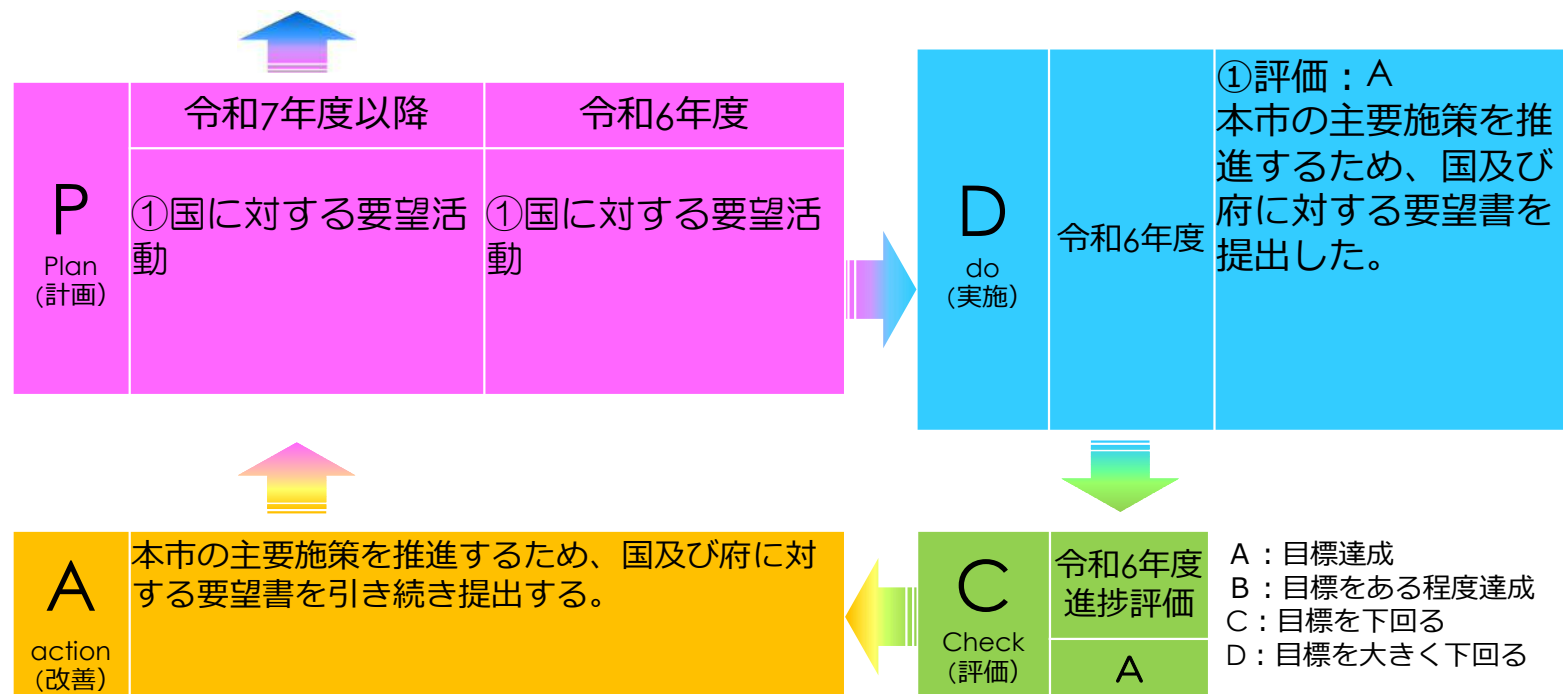
令和6年度進捗報告

No.	施策	事業運営に不可欠な財源確保	現状課題	(現状) 国に対して、治水対策にかかる財政支援を要望している 大阪府に対して、市内での対策事業の推進を要望している (課題) 事業の必要性、効果をPRしていくことが必要
20	取組項目	国や府に対する要望活動 (治水対策)		
最終目標	市内の浸水被害の軽減に向けた対策事業を進めるための財政支援の充実			



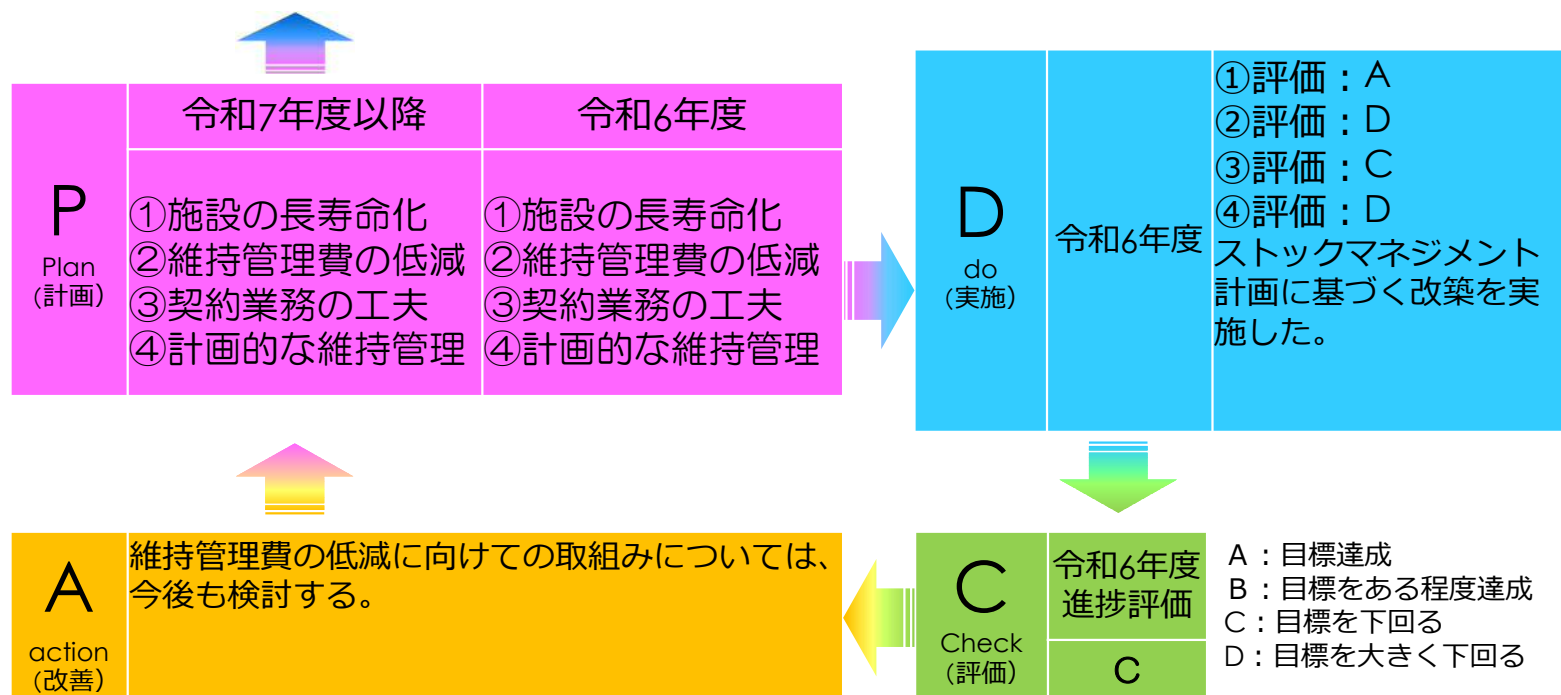
令和6年度進捗報告

No.	施策	事業運営に不可欠な財源確保	現状課題	①雨水事業に対する地方財政措置の改善 ②公害財特法に基づく交付税の特例措置の失効に伴う影響に対する恒久的な代替策
21	取組項目	国に対する要望活動（地方財政措置）		
最終目標	安定経営にむけた財政支援の充実			



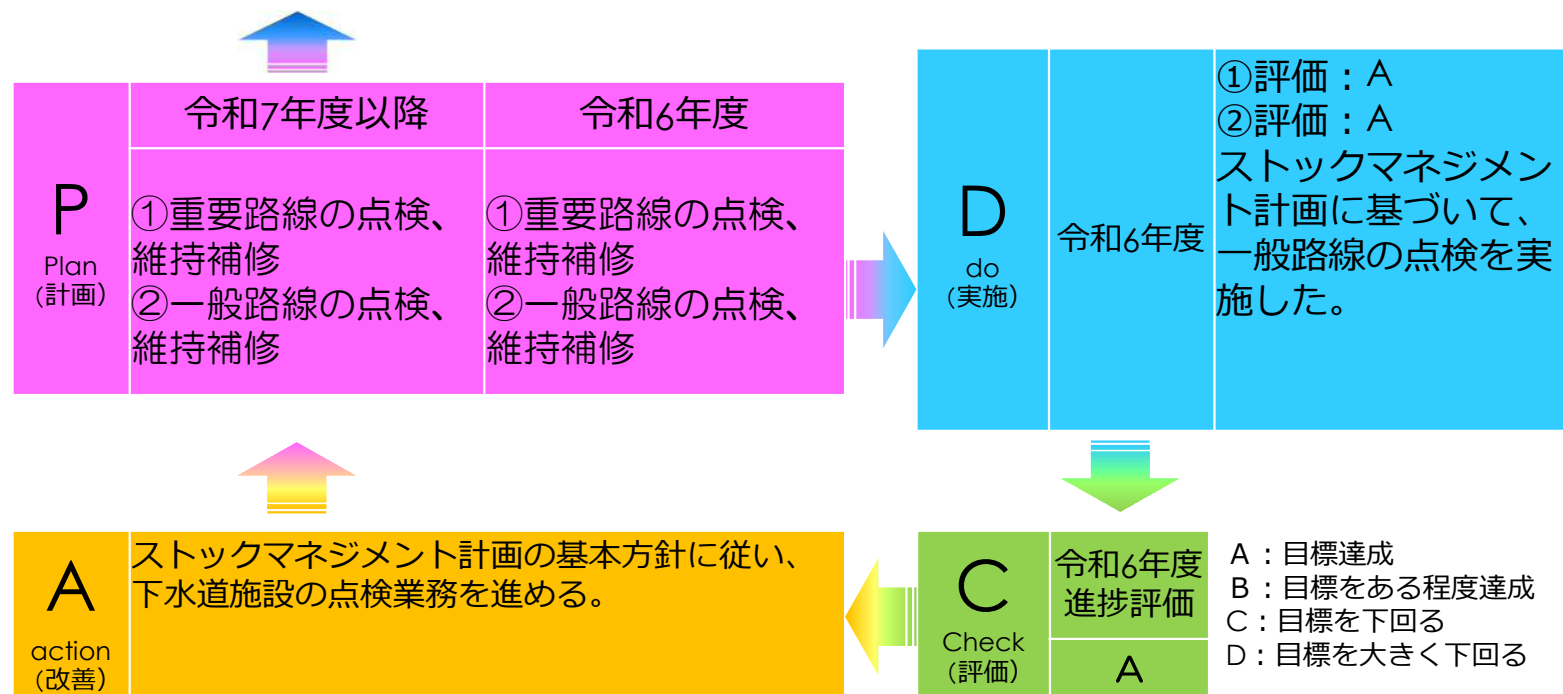
令和6年度進捗報告

No.	施策	効率的かつ計画的な維持修繕計画の推進	現状課題	長期的な視点で老朽化の状況を把握し、計画的かつ効率的な施設の維持管理と更新を行うため、定期的な整備が必要な部品については、整備計画の作成が必要
22	取組項目	ポンプ設備の維持管理		
最終目標	ポンプ場の計画的かつ効率的な維持管理を行う			



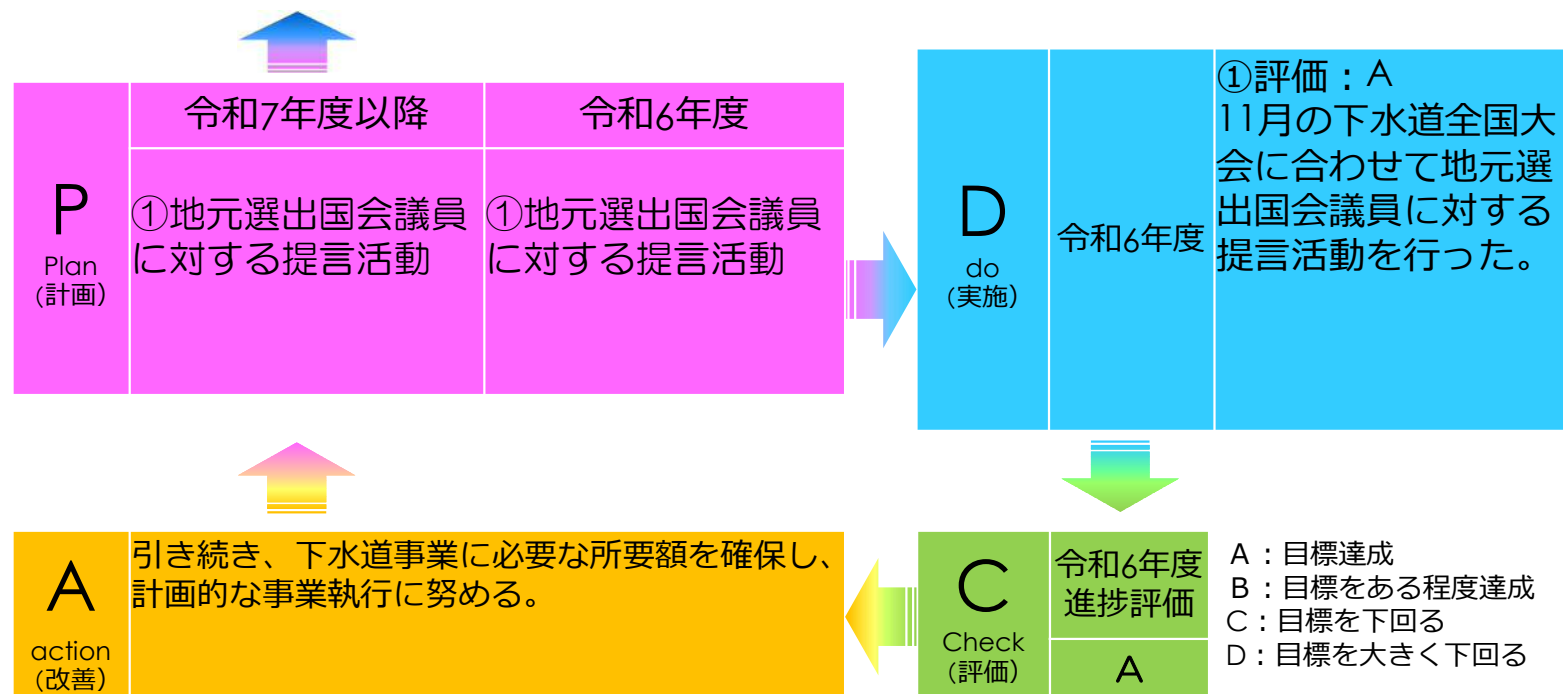
令和6年度進捗報告

No.	施策	他都市との相互協力体制	現状課題	昭和24年度より事業着手し、整備を進めてきた下水道施設は老朽化が進行している 持続的な下水道機能を確保するため、ストックマネジメント計画に基づく効率的な施設の維持管理が必要
23	取組項目	下水道管の維持管理		
最終目標	・下水道施設の破損を起因とする道路陥没等の事前防止 ・下水道施設の長寿命化			



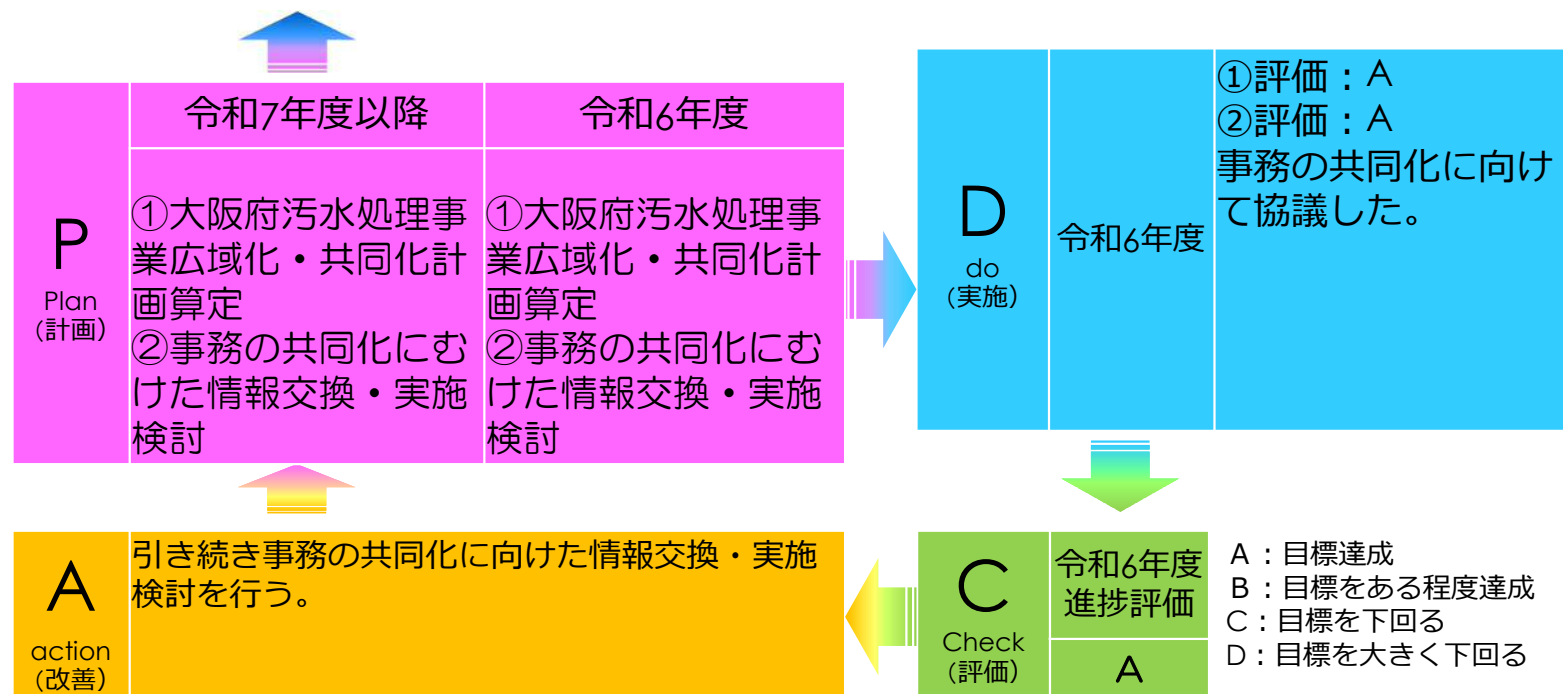
令和6年度進捗報告

No.	施策	他都市との相互協力体制	現状課題	大阪府内において、下水道事業を推進するため、日本下水道協会と連携し、かつ、会員相互の広域的な連携を図り、諸般の調査研究その他必要な事業を行うとともに、会員相互の情報交換を図っている
24	取組項目	下水道協会の提言活動		
最終目標	下水道事業に必要な所要額を確保することができ、計画的な事業執行が可能			



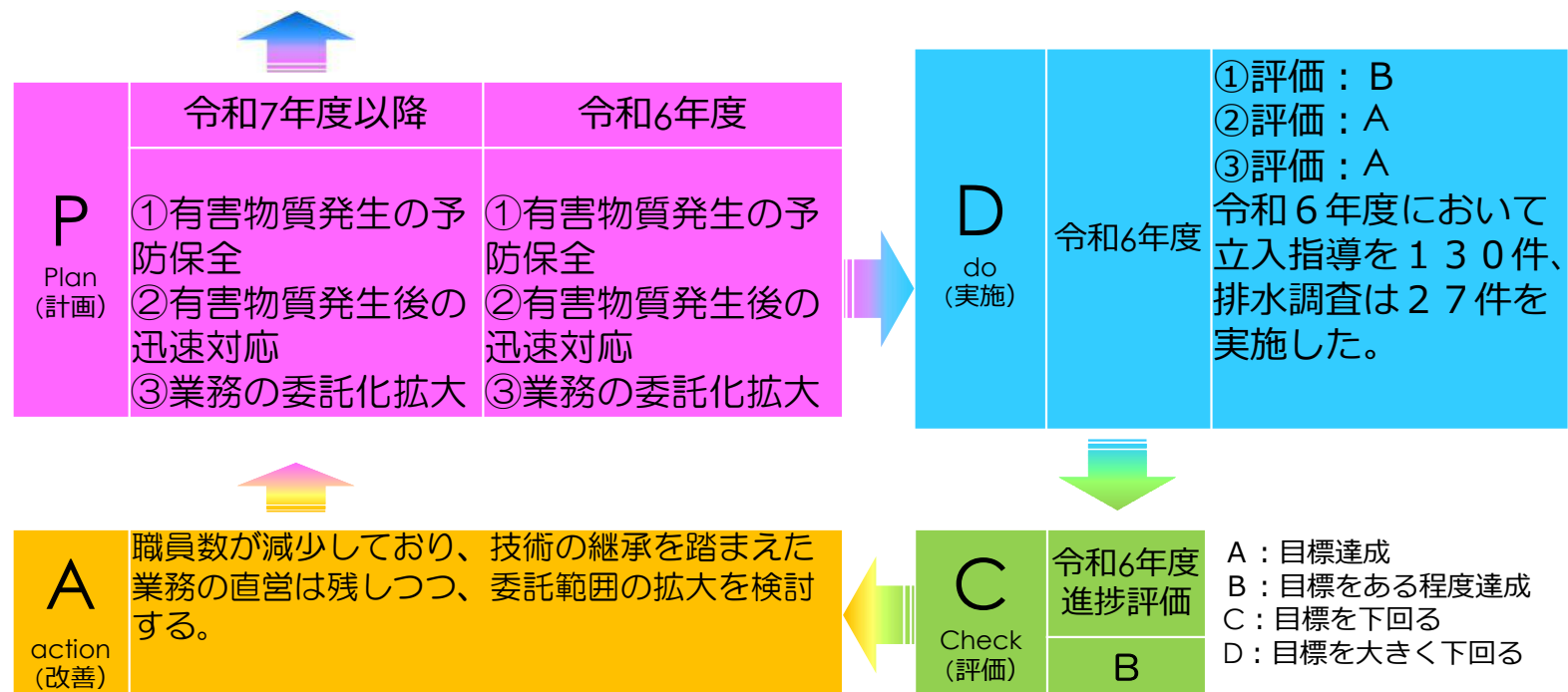
令和6年度進捗報告

No.	施策	他都市との相互協力体制	現状課題	(現状)人口減少による収入減、施設の老朽化に伴うコスト増、職員の減少など、事業を取り巻く環境は厳しさを増している (課題)さらなる事業運営の効率化が必要流域下水道により、ハード面での広域化は進んでいるので、ソフト面での連携が必要
25	取組項目	流域協議会等		
最終目標	事務の広域化・共同化による事務の効率化			



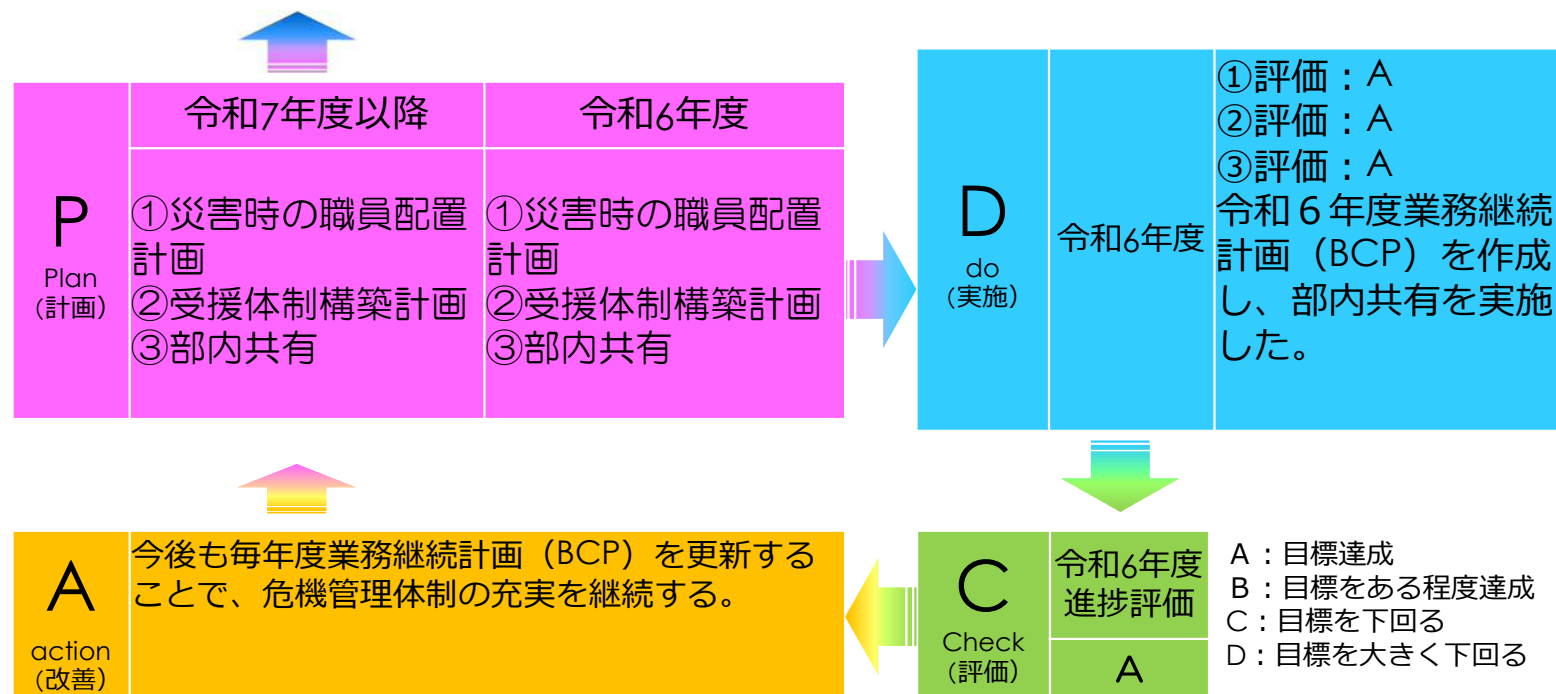
令和6年度進捗報告

No.	施策	水質規制	現状課題	事業場排水に起因する悪質下水の流入が度々発生する 大阪府東部流域下水道事務所より調査・指導の強化を求められている 職員数が減少しているため、技術の継承を踏まえた業務の直営は残しつつ、 委託範囲の拡大を検討する必要がある
26	取組項目	有害物質への対策		
最終目標	・下水道施設の更新・補修の経費を節減 ・住工共生のなかで、生活の安心・安全			



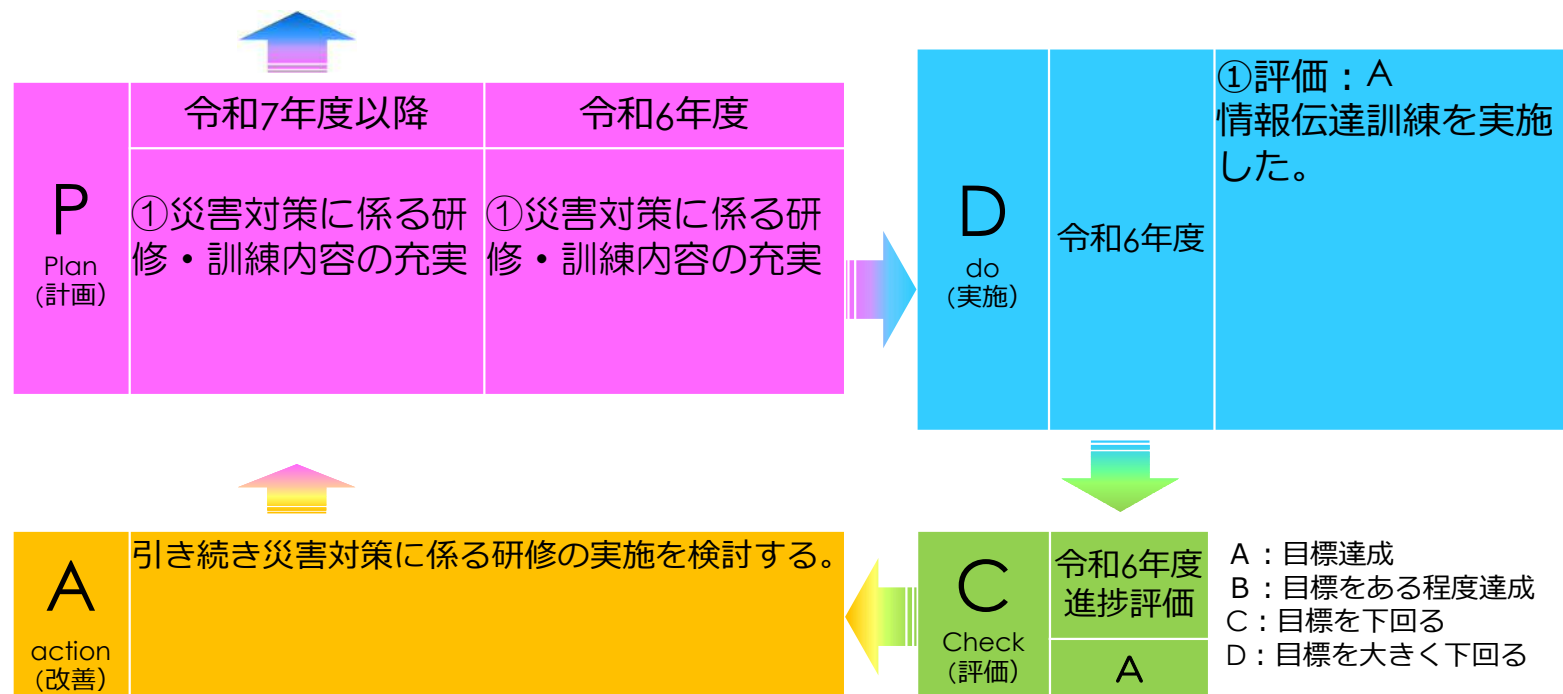
令和6年度進捗報告

No.	施策	危機管理体制の充実	現状課題	市の地域防災計画や業務継続計画と整合を図りながら、下水道事業の効率的な災害対応を実施するため、業務継続計画（BCP）を策定している一方、地震災害や豪雨災害の危険が高まっている中で、更なるBCPの改善が求められている
27	取組項目	業務継続計画（BCP）の更新		
最終目標	危機対応能力の向上			



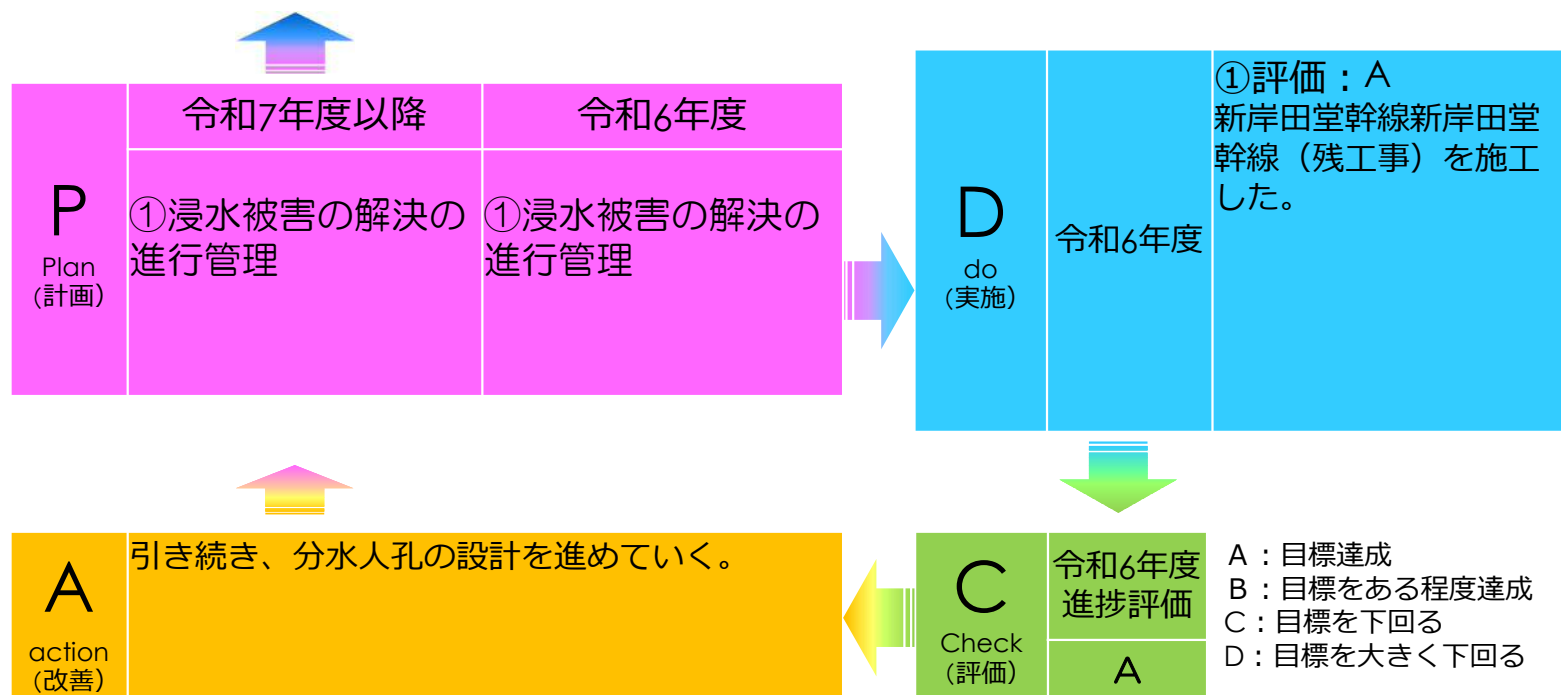
令和6年度進捗報告

No.	施策	危機管理体制の充実	現状 課題	大阪府とBCPが実行性を伴うものとなるような研修・訓練を実施している
28	取組項目	災害対策研修・訓練の実施		
最終 目標	業務継続計画（BCP）が実行性を伴うものとなるような研修・訓練の実施			



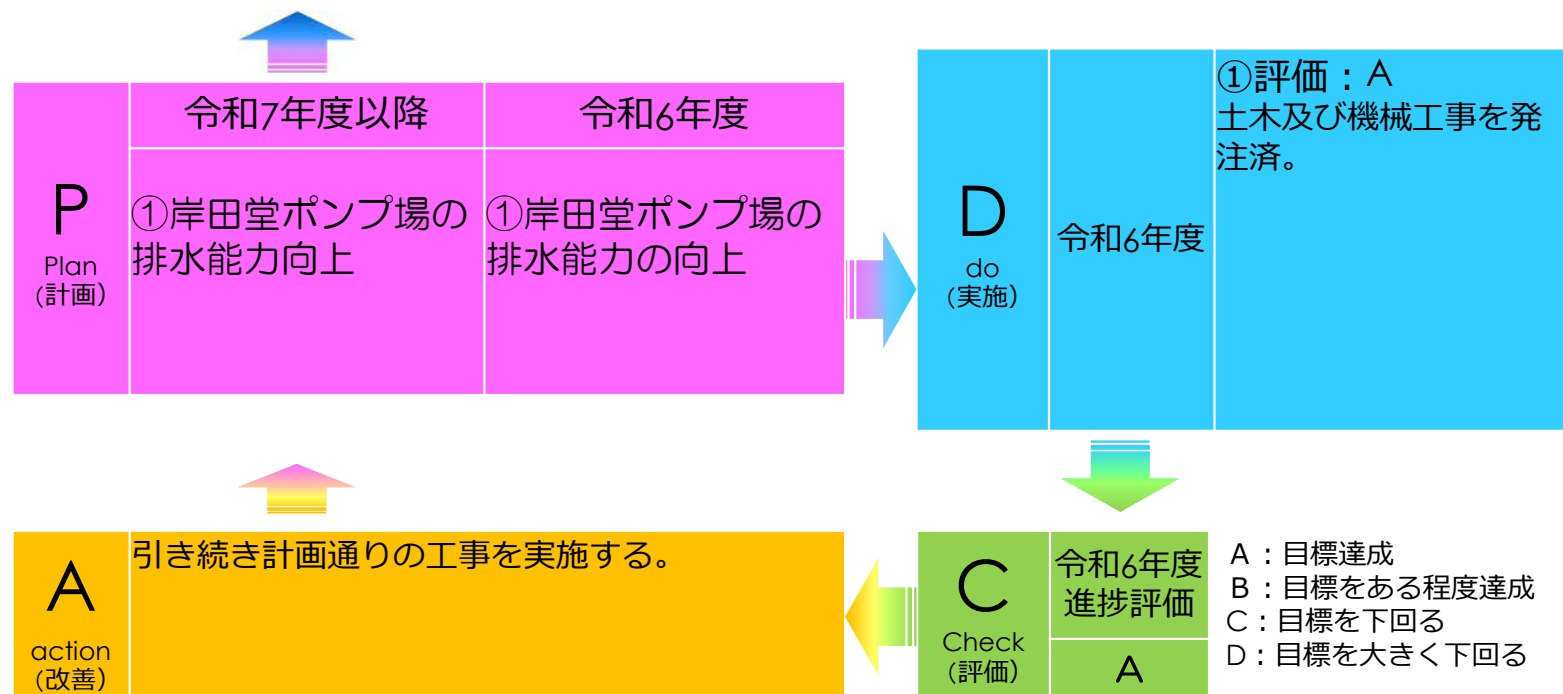
令和6年度進捗報告

No.	施策	治水対策の推進	現状課題	東大阪市を含む寝屋川流域は、その約3/4が降った雨が自然に河川に流れ込まない内水域のため、河川・下水・流域による総合治水対策に取り組んでいる。早くから下水道の整備が進められた第二寝屋川以西の地域は排水能力が弱く、排水能力を高めるための増補管を整備している計画約27kmのうち、約96%の進捗率（令和2年度末）
29	取組項目	増補管の整備		
最終目標	西部地区の浸水被害の軽減			



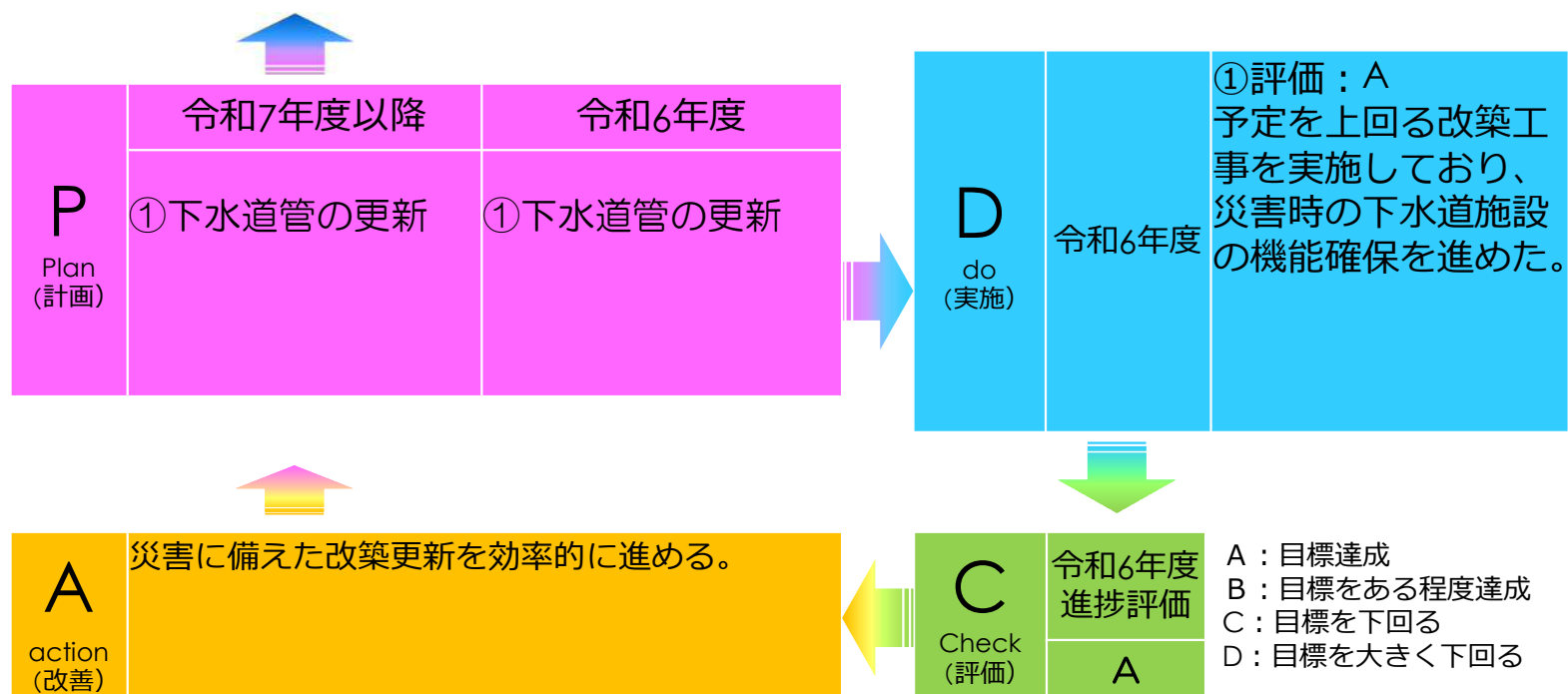
令和6年度進捗報告

No.	施策	治水対策の推進	現状課題	(現状) 岸田堂ポンプ場からの雨水の排水量を増やすためにポンプの増設が計画されている現状は計画能力以下のポンプが設置されているのみとなっている
30	取組項目	ポンプ施設の整備		(課題) 現状の限られた敷地内に新たにポンプを設置することになるため、技術面で高度な検討が必要となる
最終目標				岸田堂ポンプ場からの雨水の排水量を増加させることで浸水被害を軽減させる



令和6年度進捗報告

No.	施策	下水道施設の再構築	現状課題	本市の下水道整備は、下水道普及率99.9%（処理人口）であるが、既設管渠約1,160kmのうち約170kmが整備から50年以上経過している（令和2年度末） 老朽化した施設は、損壊による機能停止での衛生面・防災面のリスクや道路陥没等の二次被害のリスクを抱えており、地震等の災害に備えた改築更新や耐震化を効率的に費用を抑制しながら進める必要がある
31	取組項目	下水道管の更新		
最終目標	計画的な改築による、災害時の下水道施設の機能確保と、持続可能な事業運営			



令和6年度進捗報告

No.	施策	下水道施設の再構築	現状課題	(現状) 高井田ポンプ場と岸田堂ポンプ場は、共に供用開始から50年以上経過しており、機械・電気設備を中心に老朽化が進んでいる (課題) ポンプ場は、下水道の根幹施設であり、機能停止によるリスクが大きい ため、状態監視と計画的な修繕・改築が必要
32	取組項目	ポンプ設備の更新		
最終目標	ポンプ場の計画的かつ効率的な維持管理と災害時の下水道施設の機能確保			

